

KYOTO UNIVERSITY 2016

平成28年度 京都大学特色入試学生募集要項



目 次

京都大学特色入試を始めるにあたって	1
Ⅰ. 京都大学の基本理念	2
Ⅱ. 京都大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	3
Ⅲ. 京都大学特色入試の基本方針	4
Ⅳ. 募集人員・試験実施方式	5
Ⅴ. 選抜日程	6
Ⅵ. 求める人物像、募集人員、選抜日程、出願資格、出願要件、 提出書類、大学入試センター試験利用教科・科目名、選抜方法 及び基準、第2次選考実施期日・場所	7
・総合人間学部	8
・文学部	10
・教育学部	12
・法学部	14
・経済学部	16
・理学部	18
・医学部医学科	20
・医学部人間健康科学科	22
・薬学部薬科学科	24
・工学部地球工学科	26
・工学部電気電子工学科	28
・工学部情報学科	30
・工学部工業化学科	32
・農学部食料・環境経済学科	34
Ⅶ. 出願手続	36
Ⅷ. 電算処理原票及び志願票等の記入方法	42
Ⅸ. 入試情報開示	46
X. 障害等のある入学志願者との事前相談について	47
XI. 受験に関する注意事項等	48
XII. 合格者発表	50
XIII. 入学手続	52
XIV. 個人情報取り扱いについて	53
XV. 修学案内	54

※本募集要項には、法学部の後期日程試験の出願書類は含まれておりません。法学部の後期日程試験の出願手続・合格者発表・入学手続等については、12月配布予定の一般入試学生募集要項をご確認ください。

京都大学特色入試を始めるにあたって



京都大学は創立以来、対話を根幹とした自由の学風のもと自主独立と創造の精神を涵養し、多元的な課題の解決に挑戦して、地球社会の調和ある共存に貢献すべく、質の高い高等教育と先端的学術研究を推進してきました。

また、大学を社会や世界に開く窓として位置づけ、有能な学生や若い研究者の能力を高め、それぞれの活躍の場へと送り出す役割が大学全体の共通のミッションであると考えています。

しかし、大学4年間だけで人材育成ができるものではありません。高校3年間＋大学4年間の7年間、あるいは中学校・小学校までさかのぼってその育成方針を共有し、一人ひとりを丁寧に育て上げていくべきだと思えます。したがって、高校教育から大学教育への接続を図り、一体的に人材育成を進めるため、高等学校と大学との接続・連携を緊密なものとする「高大接続型」の入学者選抜が非常に重要となってきます。

本学では、このような高等学校における幅広い学びと接続した入学者選抜方法について検討を重ね、本特色入試の導入を決定しました。従来実施してきた一般入試はそのまま残しますが、学力試験だけでは測れない能力をこの特色入試では是非評価したいと考えています。この2つの入試により、違う能力が出合い、そこで切磋琢磨する場所が与えられることによって、新しい考えが生み出されていくことを期待しています。

京都大学は、単に競争的な環境を作るのではなく、分野を超えて異なる能力や発想に出会い、対話を楽しみ協力関係を形作る場を提供していきたいと考えています。そういった出合いや話し合いの場を通じて野生的で賢い学生を育て、彼らが活躍できる世界に向けた窓を開け、学生たちの背中をそっと押して送り出すことが、私たち京都大学の教職員の共通の夢であり目標です。

高校生・受験生の皆さんが、この特色入試という新しい扉を開けて、本学に集まってくれることを期待しています。

京都大学総長 山 極 壽 一

I. 京都大学の基本理念

京都大学は、創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、多角的な課題の解決に挑戦し、地域社会の調和ある共存に貢献するため、自由と調和を基礎に、ここに基本理念を定める。

■研究

1. 京都大学は、研究の自由と自主を基礎に、高い倫理性を備えた研究活動により、世界的に卓越した知の創造を行う。
2. 京都大学は、総合大学として、基礎研究と応用研究、文科系と理科系の研究の多様な発展と統合をはかる。

■教育

3. 京都大学は、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる。
4. 京都大学は、教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力をもつ人材を育成する。

■社会との関係

5. 京都大学は、開かれた大学として、日本および地域の社会との連携を強めるとともに、自由と調和に基づく知を社会に伝える。
6. 京都大学は、世界に開かれた大学として、国際交流を深め、地球社会の調和ある共存に貢献する。

■運営

7. 京都大学は、学問の自由な発展に資するため、教育研究組織の自治を尊重するとともに、全学的な調和をめざす。
8. 京都大学は、環境に配慮し、人権を尊重した運営を行うとともに、社会的な説明責任に答える。

Ⅱ. 京都大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

京都大学は、日本の文化、学術が育まれてきた京都の地に創設された国立の総合大学として、社会の各方面で活躍する人材を数多く養成してきました。創立から1世紀以上を経た21世紀の今日も、建学以来の「自由の学風」と学術の伝統を大切にしながら、教育、研究活動をおこなっています。

京都大学は、教育に関する基本理念として「対話を根幹とした自学自習」を掲げています。京都大学の目指す教育は、学生が教員から高度の知識や技術を習得しつつ、同時に周囲の多くの人々とともに研鑽を積みながら、主体的に学問を深めることができるように教え育てることです。なぜなら、自らの努力で得た知見こそが、次の学術展開につながる大きな力となるからです。このため、京都大学は、学生諸君に、大学に集う教職員、学生、留学生など多くの人々との交流を通じて、自ら学び、自ら幅広く課題を探求し、解決への道を切り拓く能力を養うことを期待するとともに、その努力を強く支援します。このような方針のもと、優れた学知を継承し創造的な精神を養い育てる教育を実践するため、自ら積極的に取り組む主体性をもった人を求めています。

京都大学は、その高度で独創的な研究により世界によく知られています。そうした研究は共通して、多様な世界観・自然観・人間観に基づき、自由な発想から生まれたものであると同時に、学問の基礎を大切にする研究、ないし基礎そのものを極める研究であります。優れた研究は必ず確固たる基礎的学識の上に成り立っています。

京都大学が入学を希望する者に求めるものは、以下に掲げる基礎的な学力です。

1. 高等学校の教育課程の教科・科目の修得により培われる分析力と俯瞰力
2. 高等学校の教育課程の教科・科目で修得した内容を活用する力
3. 外国語運用能力を含むコミュニケーションに関する力

このような基礎的な学力があってはじめて、入学者は、京都大学が理念として掲げる「自学自習」の教育を通じ、自らの自由な発想を生かしたより高度な学びへ進むことが可能となります。

京都大学は、各学部の理念と教育目的に応じて、その必要とするところにしたがって、入学者選抜における教科・科目等を定めており、望ましい基礎的な学力を備え、京都大学の学風と理念を理解して、意欲と主体性をもって勉学に励むことのできる人を、国内外から広く受け入れます。

Ⅲ. 京都大学特色入試の基本方針

本特色入試では、高大接続と個々の学部の教育を受ける基礎学力を重視し、

①高等学校での学修における行動と成果の判定

②個々の学部におけるカリキュラムや教育コースへの適合力の判定

を行い、①と②の判定を併せて、志願者につき高等学校段階までに育成されている学力及び個々の学部の教育を受けるにふさわしい能力並びに志を総合的に評価して選抜します。

①については、高大接続を重んじるという観点から、高等学校での学修における行動や成果を丁寧に評価するため、「調査書」に加え高等学校長等の作成する「学業活動報告書」や「推薦書」を提出していただきます。そこには、出願者の高等学校在学中の顕著な活動歴（例えば、数学オリンピックや国際科学オリンピック出場、各種大会における入賞、教育委員会賞、国際バカロレアディプロマコース・SAT・TOEFL・TOEIC・英検の成績など）を記していただき、志願者が受験科目以外にどういったことを学んできたか、どういった活動を実践してきたかを見ます。さらに、志願者が作成する「学びの設計書」等をもとに、高等学校での活動内容から本学において何を学びたいのか、卒業後どういった仕事に就きたいのかといった、志願者自らの学ぶ意欲や志について書類審査を通じて評価します。

②については、学部が定めたカリキュラムの内容を修得するのに必要とされる基礎学力や個々の学部における教育コースにとって望ましい能力を重んじるという観点から、書類審査に加えて、大学入試センター試験の成績、学部ごとの能力測定考査、論文試験、面接試験、口頭試問等を組み合わせて実施します。

IV. 募集人員・試験実施方式

学 部・学 科・専 攻 名		募集人員	試験実施方式
総合人間学部		5名	学力型 AO
文学部		10名	学力型 AO
教育学部		6名	学力型 AO
法学部		20名	後期日程
経済学部		25名	学力型 AO
理学部		5名	学力型 AO
医学部	医学科	5名	推薦
	人間健康科学科	看護学専攻	学力型 AO
		理学療法学専攻	
		作業療法学専攻	
薬学部	薬科学科	3名	学力型 AO
工学部	地球工学科	3名	推薦
	電気電子工学科	5名	
	情報学科	2名	
	工業化学科	若干名	
農学部	食料・環境経済学科	3名	学力型 AO

注：1. 法学部を除き、選考の結果によっては合格者数が募集人員に満たない場合がありますが、その欠員分は一般入試（前期日程試験）の募集人員に加えます。

2. 法学部を除き、学部・学科間の併願はできません。

3. 国公立大学（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）への出願は、1つの大学・学部に限ります。

4. 本特色入試に出願できるのは、合格した場合に入学することが確約できる人に限ります。

5. 本特色入試に出願した場合でも、分離分割方式の「前期日程」の大学・学部等から1つ、「後期日程」の大学・学部等から1つの合計2つの大学・学部等（本特色入試の「法学部」に出願した場合は「前期日程」の大学・学部等から1つのみ）に出願することができます。

ただし、本特色入試の合格者は、本学の定める入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて、他に出願済みの国公立大学・学部を受験しても、その大学・学部の合格者となりません。

※ 独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学については、公立大学協会ホームページを参照のこと。（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）

6. 入学許可後、出願書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。この場合、既納の入学料は返還しません。

V. 選抜日程

学部・学科名		出願期間	第1次選考 結果発表	第2次選考	第2次選考 合格発表
総合人間学部		11/2~6	11/30	12/23	※
文学部		11/2~6	2/3	2/5	※
教育学部		10/5~9	11/6	11/28、29	12/15
法学部		1/25~2/3	2/28	3/12	3/23※
経済学部		11/2~6	2/3	2/5	※
理学部		10/5~9	11/6	11/28、29	12/15
医学部	医学科	11/2~6	11/30	12/22、23	1/13※
	人間健康科学科	10/5~9	10/30	11/14、15	12/15
薬学部	薬科学科	11/2~6	11/30	12/23	1/13
工学部	地球工学科	11/2~6	11/30	12/24	1/13
	電気電子工学科		—	—	※
	情報学科		11/30	12/24、25	1/13
	工業化学科		11/30	—	※
農学部	食料・環境経済学科	11/2~6	2/3	2/5	※

注：医学部医学科は、大学入試センター試験を利用しませんので、最終合格発表日は1月13日です。
 最終合格発表は、法学部及び医学部医学科を除き、2月10日とします。
 (※については、第2次選考合格発表と最終合格発表が同じであることを示しています。)
 入学手続きは、法学部を除き、2月16日とします。

○出願期間 △第1次選考結果発表 □第2次選考 ◇第2次選考結果発表 ☆最終合格発表
 下欄の数字は日付を表す ●入学手続き

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合人間学部		○ 2~6	△ 30	□ 23	☆● 10 16	
文学部		○ 2~6			△□☆● 3 5 10 16	
教育学部	○ 5~9	△ 6	□ 28 29	◇ 15	☆● 10 16	
法学部					○ 25~3	△ 28 □ 12 ☆● 23 25
経済学部		○ 2~6			△□☆● 3 5 10 16	
理学部	○ 5~9	△ 6	□ 28 29	◇ 15	☆● 10 16	
医学部	医学科	○ 2~6	△ 30	□ 22 23	☆ 13	● 16
	人間健康科学科	○ 5~9	△ 30	□ 14 15	◇ 15	☆● 10 16
薬学部	薬科学科	○ 2~6	△ 30	□ 23	◇ 13	☆● 10 16
工学部	地球工学科	○ 2~6	△ 30	□ 24	◇ 13	☆● 10 16
	電気電子工学科	○ 2~6				☆● 10 16
	情報学科	○ 2~6	△ 30	□ 24 25	◇ 13	☆● 10 16
	工業化学科	○ 2~6	△ 30			☆● 10 16
農学部	食料・環境経済学科	○ 2~6			△□☆● 3 5 10 16	

VI. 求める人物像、募集人員、選抜日程、出願資格、出願要件、提出書類、
大学入試センター試験利用教科・科目名、選抜方法及び基準、第2次選考
実施期日・場所

8～35ページのとおりです。学部（学科）により異なりますので、注意してください。

【総合人間学部】

試験実施方式：学力型 AO

◆求める人物像

総合人間学部は、異質な学問分野の接触と相互作用を基盤とした新たな「人間の学」の創出を目指しています。積み上げられてきた既成の学問の成果を生かしながら問題を発見し追究すること、問題の解決に向けて学問間の連携を図り新たな体系を創出することが、本学部の目的です。こうした意味での「総合」、「文理融合」の意義を理解し、これを積極的に進めようとする学生諸君が門をたたくことを望んでいます。

◆募集人員

5名

◆選抜日程

出願書類受理期間	平成27年11月2日(月)～11月6日(金)午後5時(必着)まで
第1次選考結果発表日	平成27年11月30日(月)
第2次選考実施日	平成27年12月23日(水)
最終合格発表	平成28年2月10日(水)
入学手続	平成28年2月16日(火)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成26年4月から平成28年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成26年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者

◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学総合人間学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 調査書の全体の評定平均値 4.3 以上の者
3. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式(総合人間学部用)により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試WEBサイト

(<http://www.nyusi.gakusei.kyoto-u.ac.jp/tokushoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、36ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語

【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1

【数学】「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」

【理科】物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2、又は物理、化学、生物、地学から2 ※2

【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※3

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目を選択した場合、200点満点を100点満点に換算して利用します。

※3 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、能力測定考査、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、調査書、学業活動報告書、及び学びの設計書により選考を行い、上位50名を上限として合格者を決定します。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、能力測定考査（文系総合問題、理系総合問題）を行い、その成績、及び大学入試センター試験の成績により最終選考を行います。

能力測定考査においては、文系総合問題では広く文化・科学・思想・社会などから出題し、長文の読解力や文章力を検査します。理系総合問題では数Ⅲを含み、数理的思考力や論理的思考力を検査します。

能力測定考査の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	文系総合問題	理系総合問題	合計
配点	100	100	200

大学入試センター試験においては基礎学力を問い、その得点の合計が800点満点中85%以上であることを求めます。

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
平成27年12月23日(水)	文系総合問題	10時00分～12時00分	京都大学総合人間学部
	理系総合問題	14時00分～16時30分	

※集合時間及び場所等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付（41ページ）の際にお知らせします。

◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、所定の台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「平成28センター試験成績請求票」を貼り付け、所定の返送用封筒に入れて、送付時に指定する日までに総合人間学部教務掛へ提出してください（詳細は41ページ及び45ページ参照）。

【文学部】

試験実施方式：学力型 AO

◆求める人物像

文学部は、基礎学力を十分に備え、これからの文学部での勉学についてプランと展望を持ち、意欲を持って広い意味での勉学に励む人を求めています。

◆募集人員

10名

◆選抜日程

出願書類受理期間	平成27年11月2日（月）～11月6日（金）午後5時（必着）まで
第1次選考結果発表日	平成28年2月3日（水）
第2次選考実施日	平成28年2月5日（金）
最終合格発表	平成28年2月10日（水）
入学手続	平成28年2月16日（火）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成26年4月から平成28年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成26年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者

◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学文学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（文学部用）により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試WEBサイト

(<http://www.nyusi.gakusei.kyoto-u.ac.jp/tokushoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、36ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語
【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から2
【数学】「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」
【理科】物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 ※1
【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2

※1 基礎を付した科目から2科目を選択することに代え、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、200点満点を100点満点に換算して利用します。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

◆第1次選考の合格者発表について

第2次選考実施日まであまり日がないことから、第1次選考の結果については合否照会システムを利用して確認してください。

詳しくは、41ページ及び51ページを参照してください。

◆選抜方法及び基準

提出書類、大学入試センター試験の成績、論文試験、学びの設計書に関連する論述試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中760点以上の者を合格者とし、ただし、該当者が多数にのぼる場合には、成績上位の30名程度を合格者とし、

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、①「学びの設計書」に関連する論述試験及び提出書類、②論文試験、についてA～Cの3段階評価を行い、①及び②の両方がAの者を合格者とし、

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
平成28年2月5日（金）	論述試験	13時00分～14時30分	京都大学文学部
	論文試験	15時00分～17時30分	

※集合時間及び場所等の詳細については、受験票送付（41ページ）の際にお知らせします。

◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

受験者全員に、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、所定の台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「平成28センター試験成績請求票」を貼り付け、所定の返送用封筒に入れて、送付時に指定する日までに文学部教務掛へ提出してください（詳細は41ページ及び45ページ参照）。

【教育学部】

試験実施方式：学力型 AO

◆求める人物像

教育学部は、教育と心・人間・社会にかかわる多様な事象を対象とした諸科学を学ぶことで、教育や心理についての専門的知見、さらに、広い視野と異質なものへの理解、多面的・総合的な思考力と批判的判断力を育成する教育を行っています。

そこで、次のような人物を求めています。

- ・教科の学習及び総合的な学習の時間などにおいて学習を深め、テーマを設定して探究活動を行い、卓越した学力を身につけ、成果をあげた者、あるいは、学校内外の活動で豊かな経験を積み、創造的な熟達を通して、深い洞察を得ている者
- ・人間と社会、教育や心理について関心を持ち、論理的・批判的に思考し、問題を解決する能力とコミュニケーション能力を持つ者
- ・将来、教育や心理にかかわる専門的識見を発揮して、社会に貢献する志を持つ者

◆募集人員

6名

◆選抜日程

出願書類受理期間	平成27年10月5日（月）～10月9日（金）午後5時（必着）まで
第1次選考結果発表日	平成27年11月6日（金）
第2次選考実施日	平成27年11月28日（土）、29日（日）
第2次選考合格発表日	平成27年12月15日（火）
最終合格発表	平成28年2月10日（水）
入学手続	平成28年2月16日（火）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成26年4月から平成28年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成26年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者

◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学教育学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 調査書の全体の評定平均値 4.3 以上の者
3. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。 2. 学期制の高校は、出願の時点で高校3年生中間試験までの成績を提出し、期末試験まで入った高校3年生前期の成績を11月2日（月）までに提出してください。【午後3時必着】
2. 学びの報告書	所定様式（教育学部用）により志願者本人が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（教育学部用）により志願者本人が作成したもの。

※各種様式が、京都大学特色入試WEBサイト

(<http://www.nyusi.gakusei.kyoto-u.ac.jp/tokushoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、36ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

※「学びの報告書」作成にあたっては、『教育学部「学びの報告書」添付資料に関する注意事項』を参照してください。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】 国語
【数学】 「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」
【地歴・公民】 及び【理科】 については、次のどちらかを選択する。
・世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から2 及び 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 ※1
・世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※2 及び 物理、化学、生物、地学から2
【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※3

※1 基礎を付した科目から2科目を選択することに代え、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、200点満点を100点満点に換算して利用します。

※2 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※3 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。英語は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、課題及び口頭試問によるパフォーマンス評価の成績、並びに大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。なお、パフォーマンス評価とは、知識やスキルを活用・応用・総合する力をみるために、学習の成果物やそれに関わる活動を評価する方法です。

第1次選考は、調査書、学びの報告書、及び学びの設計書により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、課題と口頭試問により選考を行います。

・課題では、読解力、論理的・批判的思考力、問題解決能力などについて評価します。

・口頭試問では、探究力と洞察力、コミュニケーション能力などについて評価します。

第2次選考における配点は、次のとおりとします。

試験の区分	課題	口頭試問	合計
配点	100	100	200

最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中80%以上の者を合格者とします。

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
平成27年11月28日(土)	課題	13時30分～16時30分	京都大学教育学部
平成27年11月29日(日)	口頭試問	9時00分～16時30分	

※集合時間及び場所等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付(41ページ)の際にお知らせします。

◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第2次選考合格者は、所定の台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な平成28センター試験成績請求票を貼り付け、所定の返送用封筒に入れて、受験票送付時に同封する「受験上の諸注意」に指定する日までに教育学部教務掛へ提出してください(詳細は41ページ及び45ページ参照)。

【法学部】

試験実施方式：後期日程

◆求める人物像

法学部は、世界・国家・社会の様々な問題に対する強い関心を持ち、多方面にわたる基礎的な学力を備え、論理的思考力に優れた人材を求めています。

◆募集人員

20名

◆選抜日程

出願書類受理期間	平成28年1月25日（月）～2月3日（水）午後5時（必着）まで
第1次選考結果発表日	平成28年2月28日（日）
第2次選考実施日	平成28年3月12日（土）
最終合格発表	平成28年3月23日（水）
入学手続	平成28年3月25日（金）

※上記日程等については12月に配布予定の一般入試学生募集要項を確認のこと。

◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成28年3月修了見込みの者
3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（平成28年3月31日までに修了見込みの者を含む。）
4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在学教育施設の当該課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者
5. 文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者
6. 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号「大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の認定」）
7. 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定（大検）に合格した者及び平成28年3月31日までに合格見込みの者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの
8. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業したと同等以上の学力があると認められた者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの※

※個別入学資格審査の申請方法等については、7月に配布予定の一般入試選抜要項を確認のこと。

◆出願要件

平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験した者

◆提出書類

調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。 （全体の評定平均値に基づいて、学科・コースごとの志願者の学年における順位を示してください。順位の記載が無い場合は出身高校に再提出を依頼します。）
-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※出願書類については、12月に配布予定の一般入試学生募集要項を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

- | |
|----------------------------------------------------------------------|
| 【国語】国語 |
| 【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から2
(世界史B、日本史Bのうち少なくとも1科目を選択すること。) |
| 【数学】「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」 |
| 【理科】物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 ※1 |
| 【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2 |

※1 基礎を付した科目から2科目を選択することに代え、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、200点満点を100点満点に換算して利用します。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点(筆記200点満点、リスニング50点満点)を200点満点に換算して利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、大学入試センター試験、及び小論文試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、大学入試センター試験及び調査書の成績により選考を行い、募集人員の10.0倍程度を目安として合格者を決定します。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験及び小論文試験の成績により選考を行います。

小論文試験は、日本語と英語の文章を題材に、読解力、論理的思考力、表現力などについて評価します。

大学入試センター試験、小論文の配点は、次のとおりとします。()内の数字は満点を表し、合計の900点満点を270点満点に換算して利用します。

試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計
センター試験	(200)	(200)	(200)	(100)	(200)	270 (900)

試験の区分	小論文	センター試験	合計
配点	100	270	370

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
平成28年3月12日(土)	小論文	14時00分~16時30分	京都大学法学部

※集合時間及び場所等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付の際にお知らせします。

【経済学部】

試験実施方式：学力型 AO

◆求める人物像

経済学部は、総合的な学力とともに、長文読解力、問題発見力、論理的思考、柔軟な思考と創造性、そして高い自学自習の能力を持つ人材を求めています。

◆募集人員

25名

◆選抜日程

出願書類受理期間	平成27年11月2日(月)～11月6日(金)午後5時(必着)まで
第1次選考結果発表日	平成28年2月3日(水)
第2次選考実施日	平成28年2月5日(金)
最終合格発表	平成28年2月10日(水)
入学手続	平成28年2月16日(火)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成28年3月修了見込みの者
3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの(平成28年3月31日までに修了見込みの者を含む。)
4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在学教育施設の当該課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者
5. 文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者
6. 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号「大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の認定」)
7. 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定(大検)に合格した者及び平成28年3月31日までに合格見込みの者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの
8. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業したと同等以上の学力があると認められた者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの※

※出願資格8.により個別入学資格審査の申請をする者は、出願前の早い時期(8月末まで)に、入試企画課(TEL075-753-2521)へお問い合わせください。

◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学経済学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式(経済学部用)により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試WEBサイト

(<http://www.nyusi.gakusei.kyoto-u.ac.jp/tokushoku/>)からダウンロードできます。

※出願書類については、36ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語
 【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から2
 【数学】「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」
 【理科】物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 ※1
 【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2

※1 基礎を付した科目から2科目を選択することに代え、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、200点満点を100点満点に換算して利用します。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

◆第1次選考の合格者発表について

第2次選考実施日まであまり日がないことから、第1次選考の結果については合否照会システムを利用して確認してください。

詳しくは、41ページ及び51ページを参照してください。

◆選抜方法及び基準

提出書類、大学入試センター試験、及び論文試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、大学入学センター試験の得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計が900点満点中630点以上の者のうち上位80名を上限として合格者を決定します。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、学業活動報告書、学びの設計書、大学入試センター試験、及び論文試験の成績により選考を行います。

論文試験では、出題は1問とし、長文読解力、問題発見力、論理的思考、柔軟な思考と創造性などについて評価します。

第2次選考におけるセンター試験の配点

試験の区分	国語	数学	外国語	合計
配点	100	100	200	400

第2次選考の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	学業活動報告書 学びの設計書	センター試験	論文	合計
配点	100	400	500	1000

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
平成28年2月5日（金）	論文	13時00分～16時00分	京都大学経済学部

※集合時間及び場所等の詳細については、受験票送付（41ページ）の際にお知らせします。

◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

受験者全員に、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、所定の台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な平成28センター試験成績請求票を貼り付け、所定の返送用封筒に入れて、送付時に指定する日までに経済学部教務掛へ提出してください（詳細は41ページ及び45ページ参照）。

【理学部】

試験実施方式：学力型 AO

◆求める人物像

理学部は、自由な雰囲気の下で学問的価値を何よりも大切にし、自律的学修が推奨される学風のもとで、自然科学の基礎体系を深く習得し、それを創造的に展開する能力と、個々の知識を総合化し、新たな知的価値を創出する能力の養成を教育の目標にしています。そのために、理学科のみの1学科制の下で、緩やかな専門化を経て、研究の最前線へ向う教育を行っています。

理学部が望む学生像は、自由を尊重し、既成の権威や概念を無批判に受け入れない人、自ら考え、新しい知を吸収し創造する姿勢を持つ人、高等学校の教育課程の修得により培われる十分な科学的素養、論理的合理的思考力と語学能力を有し、粘り強く問題解決を試みる人であり、この特色入試では、そのような人の中で、特に、数理科学の分野において極めて優れた才能を持つ人を求めています。

◆募集人員

5名

◆選抜日程

出願書類受理期間	平成27年10月5日(月)～10月9日(金)午後5時(必着)まで
第1次選考結果発表日	平成27年11月6日(金)
第2次選考実施日	平成27年11月28日(土)、29日(日)
第2次選考合格発表日	平成27年12月15日(火)
最終合格発表	平成28年2月10日(水)
入学手続	平成28年2月16日(火)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成26年4月から平成28年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成26年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者

◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学理学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。 2学期制の高校は、出願の時点で高校3年生中間試験までの成績を提出し、期末試験まで入った高校3年生前期の成績を11月2日(月)までに提出してください。【午後3時必着】
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。 (学年における順位の記載は不要)
3. 学びの報告書	所定様式(理学部用)により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試WEBサイト

(<http://www.nyusi.gakusei.kyoto-u.ac.jp/tokushoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、36ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語
【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1
【数学】「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」
【理科】物理、化学、生物、地学から2
【外国語】英語 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含みます。250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、数学に関する能力測定考査、口頭試問、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、調査書、学業活動報告書、及び学びの報告書により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、数学に関する能力測定考査、口頭試問の成績により選考を行います。

数学に関する能力測定考査では、数理解解力、問題解決力、論理的思考力、明解な説明能力などについて評価します。

口頭試問では、意欲、適性などについて評価します。

数学に関する能力測定考査、及び口頭試問の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	数 学	口頭試問	合 計
配 点	60	40	100

最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中630点以上の者を合格者とします。

◆第2次選考実施期日・場所

日 程	内 容	時 間	場 所
平成27年11月28日(土)	数学	9時00分～13時00分	京都大学理学部
平成27年11月29日(日)	口頭試問	9時30分～17時30分	

※集合時間及び場所等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付（41ページ）の際にお知らせします。

◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第2次選考合格者は、所定の台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な平成28センター試験成績請求票を貼り付け、所定の返送用封筒に入れて、受験票送付時に同封する「受験上の諸注意」に指定する日までに理学部教務掛へ提出してください（詳細は41ページ及び45ページ参照）。

【医学部医学科】

試験実施方式：推薦

◆求める人物像

京都大学は創立以来、自由の学風、闊達な対話を重視し、世界トップレベルの先端的学術研究を推進してきました。医学部医学科は、社会が大きく変革している現代においても、京都大学の学問環境で学び、研究することで、世界をリードできる人材、具体的には以下の要件を満たす人材を全国から広く求めます。

1. 医学・生命科学に深い関心を持ち、かつ真摯な姿勢、熱意を持って真理を探究できる将来の世界の医学をリードするような医学研究者としての資質・適性を持つ人材。
2. 1. 以外でも自然科学の少なくとも1領域において傑出した能力を有し、かつ医学研究者としての資質・適性を持つ人材も考慮します。
3. 本学が提供するMD-PhDコースへの進学を希望する人材。

◆募集人員

5名

◆選抜日程

出願書類受理期間	平成27年11月2日(月)～11月6日(金)午後5時(必着)まで
第1次選考結果発表日	平成27年11月30日(月)
第2次選考実施日	平成27年12月22日(火)、23日(水)
最終合格発表	平成28年1月13日(水)
入学手続	平成28年2月16日(火)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者
2. 国際科学オリンピック(数学、物理、化学、生物)日本代表で世界大会に出場した者で、高等学校又は中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者
3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者

◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・識見ともに特段に優れており、学校長が責任を持って推薦する者
2. 調査書の評定平均値 4.7以上の者
3. TOEFL-iBTスコア83点以上の者
4. 本学医学部医学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、1名とします。

ただし、国際科学オリンピック(数学、物理、化学、生物)日本代表で世界大会に出場した平成29年3月卒業見込みの者は別枠で1名推薦可能とします。

◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（医学部医学科用）により志願者本人が作成したもの。
4. TOEFL-iBT の受験者成績書（Examinee Score Report）の原本（コピー不可）	
5. 特色事項（各種コンクール、科学オリンピック等）に関する資料 *平成 29 年 3 月卒業見込の者は提出必須	

※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試WEBサイト

（<http://www.nyusi.gakusei.kyoto-u.ac.jp/tokushoku/>）からダウンロードできます。

※出願書類については、36ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

◆選抜方法及び基準

提出書類、小論文試験、及び面接試験の成績を総合して判定します。

第1次選考は、提出書類の内容により選考します。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、小論文試験、及び面接試験の成績により選考します。

小論文試験では、論理的思考力、文章構成力などについて評価します。なお、理科（物理、化学、生物のうち2科目）の基礎知識を必要とします。

面接試験では、京都大学が望む医学研究者、医師としての適性、社会的能力、科学的能力などについて評価します。

なお、小論文試験、及び面接試験の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	小論文	面接	合計
配点	160	240	400

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
平成27年12月22日(火)	小論文	13時30分～16時00分	京都大学医学部医学科
平成27年12月23日(水)	面接	8時30分～18時30分 *午前又は午後のいずれか半日を指定します。	

※集合時間及び場所等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付（41ページ）の際にお知らせします。

◆備考

特色入試に合格し、入学したもので本学が提供するMD-PhDコースへ進学するものには奨学金制度を設けております。

【医学部人間健康科学科】

試験実施方式：学力型 AO

◆求める人物像

医学部人間健康科学科は、看護師、保健師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士という国家資格をベースに、国際的視野を兼ね備えた医療専門職のリーダーや、研究者の養成を推進します。そのためには、非常に多面的でバランスの良い思考ができることが求められます。そこで、次のような人材を広く求めています。

- ・学問に対する探究心と人間に対する深い洞察力を持った人
- ・理系だけでなく人文科学系も含めた幅広い教養を指向する人
- ・従来の健康へのアプローチに創造的、批判的に対峙できる人

以上のような資質を持ち合わせた学生が、科学の求める普遍性と、一人一人の患者に対応する倫理性を統合した人間健康科学を追求し、すべての人が平和になれる健康な社会を維持するための課題や問題を抽出して解決していくことを望んでいます。

◆募集人員

看護学専攻 10名、理学療法学専攻 3名、作業療法学専攻 3名

◆選抜日程

出願書類受理期間	平成27年10月5日(月)～10月9日(金)午後5時(必着)まで
第1次選考結果発表日	平成27年10月30日(金)
第2次選考実施日	平成27年11月14日(土)、15日(日)
第2次選考合格発表日	平成27年12月15日(火)
最終合格発表	平成28年2月10日(水)
入学手続	平成28年2月16日(火)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者

◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学医学部人間健康科学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 調査書の全体の評定平均値4.3以上の者
3. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。(高校2年生までの成績を記載)
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式(医学部人間健康科学科用)により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試WEBサイト

(<http://www.nyusi.gakusei.kyoto-u.ac.jp/tokushoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、36ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

看護学専攻
【国語】国語
【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1
【数学】「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」
【理科】生物(必ず選択すること)、及び物理、化学から1
【外国語】英語 ※2

理学療法学専攻

【国語】国語

【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1

【数学】「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」

【理科】物理、化学、生物から2

【外国語】英語 ※2

作業療法学専攻

【国語】国語

【数学】「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」

【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、
「倫理、政治・経済」から1又は2 } 合わせて3科目選択 ※1

【理科】物理、化学、生物から1又は2

【外国語】英語 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含み、250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）とします。リスニング免除者は筆記200点満点を250点満点に換算して利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、論文試験、面接試験、大学入試センター試験の成績を総合して判定します。

第1次選考は、調査書、学業活動報告書、及び学びの設計書により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、論文試験、及び面接試験の成績により選考を行います。

論文試験では、医療専門職としての問題発見・解決能力などについて評価します。

面接試験では、医療専門職のリーダーとしての適性・コミュニケーション能力などについて評価します。

最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が950点満点中760点以上の者を合格者とします。

大学入試センター試験、論文試験、及び面接試験の配点は、次のとおりとします。

看護学専攻及び理学療法学専攻

試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語 (英語)	合計
センター試験	200	100	200	200	250	950

試験の区分	論文	面接	合計
配点	100	100	200

作業療法学専攻

試験の区分	国語	数学	地歴・公民	理科	外国語 (英語)	合計
センター試験	200	200	300		250	950

試験の区分	論文	面接	合計
配点	100	100	200

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
平成27年11月14日(土)	論文	9時30分～12時00分	京都大学医学部 人間健康科学科
平成27年11月15日(日)	面接	9時00分～16時30分	

※集合時間及び場所等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付(41ページ)の際にお知らせします。

※面接の時間については、午前の部9:00～12:00又は午後の部13:00～16:30のいずれかを指定します。

◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第2次選考合格者は、所定の台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な平成28センター試験成績請求票を貼り付け、所定の返送用封筒に入れて、受験票送付時に同封する「受験上の諸注意」に指定する日までに医学部人間健康科学科教務掛へ提出してください(詳細は41ページ及び45ページ参照)。

【薬学部薬科学科】

試験実施方式：学力型 AO

◆求める人物像

薬学部薬科学科では、創薬に関係する幅広い分野において、将来、研究者として国際的に活躍することのできる人材を育成しています。

特色入試では、十分な基礎学力を有し、自ら目的を設定し挑戦できる行動力があり、特に創薬に関心と興味を持ち、将来創薬領域で世界をリードできる薬学研究者を目指す人材を求めています。

◆募集人員

3名

◆選抜日程

出願書類受理期間	平成27年11月2日(月)～11月6日(金)午後5時(必着)まで
第1次選考結果発表日	平成27年11月30日(月)
第2次選考実施日	平成27年12月23日(水)
第2次選考合格発表日	平成28年1月13日(水)
最終合格発表	平成28年2月10日(水)
入学手続	平成28年2月16日(火)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者

◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学薬学部薬科学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 調査書の全体の評定平均値 4.3 以上の者
3. TOEFL-iBT スコア 75 点以上の者
4. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式(薬学部用)により志願者本人が作成したもの。
4. TOEFL-iBT の受験者成績書 (Examinee Score Report) の原本 (コピー不可)	

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試WEBサイト

(<http://www.nyusi.gakusei.kyoto-u.ac.jp/tokushoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、36ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語 【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」 【理科】物理、化学、生物から2 【外国語】英語 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含みます。250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、論文試験、面接試験、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、調査書、学業活動報告書、学びの設計書、及びTOEFL-iBTの成績により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、論文試験、及び面接試験の成績により選考を行います。

論文試験は、化学（物理や生物との境界領域を含む）に関する英語の文章を読んで日本語で論述する形式です。英文について内容を正確に読み取り、分析した上で論理的に考察する能力や新たに得た知識を活用して問題を解決する能力などについて評価します。

面接試験は、薬学に対する意欲、目的意識、視野の広さ、適性などについて評価します。

論文試験、及び面接試験の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	論文	面接	合計
配点	200	200	400

最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中740点以上の者を合格者とします。

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
平成27年12月23日(水)	論文	9時30分～12時30分	京都大学薬学部
	面接	13時30分～17時00分	

※集合時間及び場所等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付（41ページ）の際にお知らせします。

◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第2次選考合格者は、所定の台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な平成28センター試験成績請求票を貼り付け、所定の返送用封筒に入れて、受験票送付時に同封する「受験上の諸注意」に指定する日までに薬学部教務掛へ提出してください（詳細は41ページ及び45ページ参照）。

【工学部地球工学科】

試験実施方式：推薦

◆求める人物像

工学部は、特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を持つ人材を求めています。

◆募集人員

3名

◆選抜日程

出願書類受理期間	平成27年11月2日(月)～11月6日(金)午後5時(必着)まで
第1次選考結果発表日	平成27年11月30日(月)
第2次選考実施日	平成27年12月24日(木)
第2次選考合格発表日	平成28年1月13日(水)
最終合格発表	平成28年2月10日(水)
入学手続	平成28年2月16日(火)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者
2. 高等専門学校第3年次を平成28年3月修了見込みの者
3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者

◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・識見ともに特段に優れている者
2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者
3. 国際的な科学競技会（国際数学オリンピック、国際物理オリンピック、国際化学オリンピック、国際生物学オリンピック、国際地学オリンピック、国際情報オリンピックなど）に出場した者、又は国内大会における成績優秀者
4. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者
5. 本学工学部地球工学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、本学工学部の各学科に対してそれぞれ1名とします。

◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（工学部用）により志願者本人が作成したもの。
4. 顕著な活動実績の概要	所定様式により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試WEBサイト

(<http://www.nyusi.gakusei.kyoto-u.ac.jp/tokushoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、36ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語
【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1
【数学】「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」
【理科】物理（必ず選択すること）、及び化学、生物から1
【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、口頭試問、面接試験、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、調査書、推薦書、学びの設計書、及び顕著な活動実績の概要により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、口頭試問及び面接試験により選考を行います。

口頭試問では、基礎学力と特筆すべき能力などについて評価します。

面接試験では、人格及び識見などについて評価します。

口頭試問、及び面接試験の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	口頭試問	面接	合計
配点	500	500	1000

最終選考は、提出書類、口頭試問、面接試験、及び大学入試センター試験の得点を総合して合格者を決定します。大学入試センター試験においては、その得点の合計が900点満点中80%以上であることが必要です。

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
平成27年12月24日(木)	口頭試問・面接	9時00分～16時00分	京都大学工学部 地球工学科

※集合時間及び場所等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付（41ページ）の際にお知らせします。

◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第2次選考合格者は、所定の台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な平成28センター試験成績請求票を貼り付け、所定の返送用封筒に入れて、受験票送付時に同封する「受験上の諸注意」に指定する日までに工学部教務掛へ提出してください（詳細は41ページ及び45ページ参照）。

【工学部電気電子工学科】

試験実施方式：推薦

◆求める人物像

工学部は、特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を持つ人材を求めています。

◆募集人員

5名

◆選抜日程

出願書類受理期間	平成27年11月2日（月）～11月6日（金）午後5時（必着）まで
最終合格発表	平成28年2月10日（水）
入学手続	平成28年2月16日（火）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者
2. 高等専門学校第3年次を平成28年3月修了見込みの者
3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者

◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・識見ともに特段に優れている者
2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者
3. 授業科目の一環として実施した課題研究や科学に関する課外活動において顕著な実績をあげた者
4. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者
5. 本学工学部電気電子工学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、本学工学部の各学科に対してそれぞれ1名とします。

◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（工学部用）により志願者本人が作成したもの。
4. 顕著な活動実績の概要	所定様式により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試WEBサイト

(<http://www.nyusi.gakusei.kyoto-u.ac.jp/tokushoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、36ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語

【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1

【数学】「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」

【理科】物理（必ず選択すること）、及び化学、生物から1

【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。

提出された書類の審査に重点を置きます。提出書類をA・B・C・Dの4段階で評価し、A評価の者の内、大学入試センター試験の合計得点が900点満点中80%を越えた者を合格者とします。

◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

受験者全員に、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、所定の台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な平成28センター試験成績請求票を貼り付け、所定の返送用封筒に入れて、送付時に指定する日までに工学部教務掛へ提出してください（詳細は41ページ及び45ページ参照）。

【工学部情報学科】

試験実施方式：推薦

◆求める人物像

工学部は、特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を持つ人材を求めています。

◆募集人員

2名

◆選抜日程

出願書類受理期間	平成27年11月2日(月)～11月6日(金)午後5時(必着)まで
第1次選考結果発表日	平成27年11月30日(月)
第2次選考実施日	平成27年12月24日(木)、25日(金)
第2次選考合格発表日	平成28年1月13日(水)
最終合格発表	平成28年2月10日(水)
入学手続	平成28年2月16日(火)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者
2. 高等専門学校第3年次を平成28年3月修了見込みの者
3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者

◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・識見ともに特段に優れている者
2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者
3. 国際情報オリンピック、国際数学オリンピック、国際物理オリンピックのいずれかにおいて高等学校在学中に日本代表選手候補となった者※
※ 日本情報オリンピック本選において合格し(Aランク)、春合宿に参加した者
日本数学オリンピック本選においてAAランクとして選ばれ、春合宿に参加した者
全国物理コンテスト「物理チャレンジ」においてチャレンジ・ファイナルに参加した者
4. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者
5. 本学工学部情報学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、本学工学部の各学科に対してそれぞれ1名とします。

◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式(工学部用)により志願者本人が作成したもの。
4. 顕著な活動実績の概要	所定様式により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試WEBサイト

(<http://www.nyusi.gakusei.kyoto-u.ac.jp/tokushoku/>) からダウンロードできます。
 ※出願書類については、36ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語
【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1
【数学】「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」
【理科】物理（必ず選択すること）、及び化学、生物から1
【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）として利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、口頭試問、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、調査書、推薦書、学びの設計書、及び顕著な活動実績の概要により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して口頭試問により選考を行います。

口頭試問では、提出書類の記載事項の確認、高等学校での学修の確認、科学オリンピック出場科目について高等学校の発展的内容に基づいた試問、英語による自己紹介などにより評価します。

口頭試問の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	口頭試問	合計
配点	200	200

大学入試センター試験の成績は下表の点数に換算し、第2次選考に合格した者のうち得点の合計が1000点満点中850点以上の者を合格者とします。

試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計
センター試験	150	100	250	250	250	1000

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
平成27年12月24日(木)	口頭試問	9時00分～17時30分	京都大学工学部 情報学科
平成27年12月25日(金)		9時00分～17時30分	

※集合時間及び場所等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付（41ページ）の際にお知らせします。

※日程は2日間を予定していますが、各受験生への試問はいずれか1日を指定します。また、遠方からの受験生については、開始時間を配慮します。

◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第2次選考合格者は、所定の台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な平成28センター試験成績請求票を貼り付け、所定の返送用封筒に入れて、受験票送付時に同封する「受験上の諸注意」に指定する日までに工学部教務掛へ提出してください（詳細は41ページ及び45ページ参照）。

【工学部工業化学科】

試験実施方式：推薦

◆求める人物像

工学部は、特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を持つ人材を求めています。

◆募集人員

若干名

◆選抜日程

出願書類受理期間	平成27年11月2日(月)～11月6日(金)午後5時(必着)まで
第1次選考結果発表日	平成27年11月30日(月)
最終合格発表	平成28年2月10日(水)
入学手続	平成28年2月16日(火)

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月卒業見込みの者
2. 高等専門学校第3年次を平成28年3月修了見込みの者
3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者

◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・識見ともに特段に優れている者
2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者
3. 国際化学オリンピック、国際数学オリンピック、国際物理オリンピック、国際生物学オリンピックのいずれかで銅メダル以上の成績を収めている者
4. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者
5. 本学工学部工業化学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、本学工学部の各学科に対してそれぞれ1名とします。

◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式(工学部用)により志願者本人が作成したもの。
4. 顕著な活動実績の概要	所定様式により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試WEBサイト

(<http://www.nyusi.gakusei.kyoto-u.ac.jp/tokushoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、36ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語

【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1

【数学】「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」

【理科】物理（必ず選択すること）、及び化学、生物から1

【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、調査書、推薦書、学びの設計書、及び顕著な活動実績の概要に記載された内容により選考を行います。

最終選考は、第1次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の指定した教科・科目で80%以上の得点がある者を合格者とします。ただし、1科目でも80%に達しない科目がある場合は、不合格にすることがあります。

◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、所定の台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な平成28センター試験成績請求票を貼り付け、所定の返送用封筒に入れて、送付時に指定する日までに工学部教務掛へ提出してください（詳細は41ページ及び45ページ参照）。

【農学部食料・環境経済学科】

試験実施方式：学力型 AO

◆求める人物像

農学部食料・環境経済学科は、食料・環境・農業などの分野において、高度な専門知識を持って社会のリーダーとなるべき人材を求めています。

◆募集人員

3名

◆選抜日程

出願書類受理期間	平成27年11月2日（月）～11月6日（金）午後5時（必着）まで
第1次選考結果発表日	平成28年2月3日（水）
第2次選考実施日	平成28年2月5日（金）
最終合格発表	平成28年2月10日（水）
入学手続	平成28年2月16日（火）

※上記日程等については各項目の該当ページを確認のこと。

◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成24年4月から平成28年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成24年4月から平成28年3月までに修了又は修了見込みの者

◆出願要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 本学農学部食料・環境経済学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
2. 平成28年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者

◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 学業活動報告書	所定様式により高等学校等が作成したもの。
3. 学びの設計書	所定様式（農学部用）により志願者本人が作成したもの。

※各種様式及び「学業活動報告書作成の手引き」が、京都大学特色入試WEBサイト

(<http://www.nyusi.gakusei.kyoto-u.ac.jp/tokushoku/>) からダウンロードできます。

※出願書類については、36ページ以降の「Ⅶ. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入試センター試験利用教科・科目名

【国語】国語
【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1
【数学】「数Ⅰ・数A」、「数Ⅱ・数B」
【理科】物理、化学、生物、地学から2
【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

◆第1次選考の合格者発表について

第2次選考実施日まであまり日がないことから、第1次選考の結果については合否照会システムを利用して確認してください。

詳しくは、41ページ及び51ページを参照してください。

◆選抜方法及び基準

提出書類、大学入試センター試験、及び小論文試験の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中720点以上の者の中から、提出書類の内容、及び大学入試センター試験の成績により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、小論文試験の成績により選考を行います。

小論文試験は、英語の文章を読んで日本語で論述する形式です。長文の英文について内容を正確に読み取り分析した上で、論理的に自分の意見を論述する能力などについて評価します。

小論文試験の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	小論文	合計
配点	200	200

（英文課題を2つ、それぞれ100点）

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
平成28年2月5日（金）	小論文	13時00分～16時00分	京都大学農学部

※集合時間及び場所等の詳細については、受験票送付（41ページ）の際にお知らせします。

◆大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙の提出

受験者全員に、受験票とともに「受験上の諸注意」を送付しますので、所定の台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「平成28センター試験成績請求票」を貼り付け、所定の返送用封筒に入れて、送付時に指定する日までに農学部教務掛へ提出してください（詳細は41ページ及び45ページ参照）。

Ⅶ 出 願 手 続

(法学部の後期日程試験については、12月配布予定の一般入試学生募集要項をご確認ください。)

1. 出願に要する書類等 (※印はこの募集要項に添付の所定用紙及び所定封筒)

【全学部共通】

※	① 電算処理原票・志願票・写真票・受験票	42ページ以降の「記入方法」をよく読んで記入してください。 写真票・受験票については、上半身脱帽正面向きで出願前3か月以内に単身で撮影した写真2枚(縦4cm×横3cm)をカバー紙をはがして枠内に貼り付けてください。
※	② 入学検定料納入の証明書(受付証明書又は収納証明書)	入学検定料 17,000円 納入方法は、金融機関の窓口振込又はコンビニエンスストア支払いを選択できます。 「受付証明書」又は「収納証明書」のない志願票は受理できません。38ページの「2. 入学検定料の納入方法等」をよく読んで手続をしてください。 ＜金融機関の場合＞ 別添の振込依頼書にて、金融機関の窓口で振込により納入し、「入学検定料振込金受付証明書」を志願票に貼り付けてください。 ＜コンビニエンスストアの場合＞ 別添の振込依頼書は使用しません。 入学検定料を39ページで指定するコンビニエンスストアで払い込み、受領した「取扱明細書」又は「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、志願票に貼り付けてください。 ◆ 平成23年3月に発生した東日本大震災による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災した者で、罹災証明書等を得ることができる場合は、入学検定料を免除することがあります。まずは入試企画課(TEL:075-753-2521)へお問い合わせください。
※	③ 受験票等送付用封筒	志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、372円分の切手を貼ってください。裏面には、受験学部(学科)に○印をつけてください。
※	④ 出願書類送付用封筒	出願する学部(学科)名、所在地の町名、郵便番号(封筒裏面参照)及び差出人欄を記入してください。
※	⑤ 試験成績送付申込票(希望者のみ)	試験成績の送付を希望する志願者は、必要事項を明記し、482円分の切手を貼ってください。詳細は46ページ参照。
	⑥ 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。 *【医(人間健康科学科)】は、高校2年生までの成績を記載(Ⅵ各学部(学科)の提出書類欄参照)。 *調査書が得られない場合は、38ページに記載の【調査書に代えることができる書類について】を参照してください。

【学部が定める提出書類<総合人間・文・経済・医（人間健康科学科）・薬・農学部>】

※	学業活動報告書	所定の様式により、高等学校等が作成したもの。
※	学びの設計書（各学部用）	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。 *学部（学科）によって様式が異なります。
	入学資格認定書(写) （該当者のみ）	【経済学部】の「出願資格8.」により、本学に入学資格認定の申請をし、認定を受けた者は、本学交付の入学資格認定書の写しを必ず提出してください。
	TOEFL-iBTの受験者成績書（Examinee Score Report）の原本	【薬学部】の志願者のみ提出してください。コピー不可。

【学部が定める提出書類<教育学部>】

※	学びの報告書（教育学部）	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。作成にあたっては、『教育学部「学びの報告書」添付資料に関する注意事項』を参照してください。
※	学びの設計書（教育学部）	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。

【学部が定める提出書類<理学部>】

※	学業活動報告書	所定の様式により、高等学校等が作成したもの。
※	学びの報告書（理学部）	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。

【学部が定める提出書類<医学部（医学科）>】

※	推薦書	所定の様式により、高等学校等が作成したもの。
※	学びの設計書（医学部医学科）	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。
	TOEFL-iBTの受験者成績書（Examinee Score Report）の原本	コピー不可。
	特色事項（各種コンクール、科学オリンピック等に関する資料）	*平成29年3月卒業見込の者は提出必須

【学部が定める提出書類<工学部>】

※	推薦書	所定の様式により、高等学校等が作成したもの。
※	学びの設計書（工学部）	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。
※	顕著な活動実績の概要	所定の様式により、志願者本人が作成したもの。

【各種様式等のダウンロードについて】

「学業活動報告書」及び「推薦書」の作成にあたっては、それぞれの「作成の手引き」を参照してください。学部・学科別各種様式と「学業活動報告書・推薦書作成の手引き」は、京都大学特色入試WEBサイト（<http://www.nyusi.gakusei.kyoto-u.ac.jp/tokushoku/>）からダウンロードできます。

なお、学部・学科別各種様式については、本募集要項に添付されている所定の様式に必要事項を記入のうえ、提出してください。

【調査書に代えることができる書類について】

1. 指導要録の保存期間が経過した者、廃校・被災その他の事情により調査書が得られない者は、「卒業証明書及び成績証明書」を提出してください。成績証明書等を提出できない場合は、「卒業証明書」に加えて学校長からの「発行できない旨の書面」を提出してください。
2. 【経済学部】の「出願資格7.」による高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定（大検）合格者は、「合格成績証明書」（合格証明書は不要）を提出してください。ただし、高等学校等において科目を履修したことにより受験科目を一部免除された場合は、免除された科目の高等学校等の調査書又は「成績証明書」を添えてください。
3. 上記1. 及び2. 以外の者は、「修了証明書（資格証明書）及び成績証明書」を提出してください。

【注意事項】

- (1) 出願に際しては、所定用紙及び所定封筒を使用してください。
- (2) 出願書類に記載事項の記入もれ、その他不備のある場合は受理しません。
- (3) 出願書類の受理後は、出願事項の変更を認めません。
- (4) 出願書類の受理後は、出願書類を返却しません。
- (5) 現在、大学等に在学している者は、受験に際して受験許可書や退学証明書は必要ありません。
ただし、本学に入学する際は、3月31日までに退学し、入学予定学部の教務担当に退学証明書を速やかに提出してください。

2. 入学検定料の納入方法等

(1) 納入期間

【教育・理・医（人間健康科学科）学部】

平成27年9月28日（月）から10月9日（金）まで

【総合人間・文・経済・医（医学科）・薬・工・農学部】

平成27年10月26日（月）から11月6日（金）まで

※出願書類の受理期間に注意(40ページ参照)

(2) 納入方法

<金融機関の場合>

募集要項に添付の出願書類送付用封筒の中にある「入学検定料振込依頼書」を使用して振り込んでください。

振込場所は金融機関(ゆうちょ銀行及び郵便局は除く)の窓口です。ATM(現金自動預払機)、インターネット等は利用しないでください。

三井住友銀行の本・支店から振り込む場合の振込手数料は不要です。その他の金融機関から振り込む場合の振込手数料は志願者の負担となります。

【振込依頼書への記入及び振込の際の注意事項】

- ・「ご依頼人」の名前は必ず志願者本人氏名をフリガナまで正確にお書きください。
(志願票どおり記入し、保護者等の氏名は記入しないでください。)
- ・振込の受付証明書は志願票に貼り付けますので、必ず受付窓口で受け取り、収納印が押されていることを確認してください。また、受取書は志願者用の控えになりますので、大切に保管しておいてください。

<コンビニエンスストアの場合>

コンビニエンスストアでの支払い方法の詳細は、39ページを参照してください。なお、払込手数料は志願者の負担となります。

コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内

ご利用期間 【教育・理・医(人間健康科学科)学部】 平成27年 9月28日(月) 9:00 ~ 平成27年10月9日(金) 16:30まで
 【総合人間・文・経済・医(医学科)・薬・工・農学部】 平成27年 10月26日(月) 9:00 ~ 平成27年11月6日(金) 16:30まで

【出願書類の受理期間にご注意ください】

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み

セブン-イレブン
マルチコピー機
<http://www.sej.co.jp>
 最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。
 TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



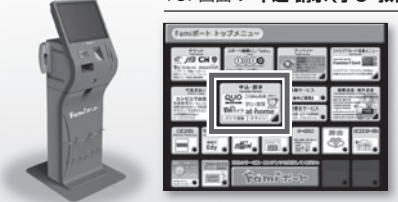
学び・教育
↓
入学検定料等支払

LAWSON Loppi **MINI STOP Loppi**
<http://www.lawson.co.jp> <http://www.ministop.co.jp>
 最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。
 TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大・専門、小・中・高校等お支払い

あなたも、コンビニ、
FamilyMart Famiポート
<http://www.family.co.jp>
 最寄りの「ファミリーマート」にある「Famiポート」へ。
 TOP画面の「申込・請求(学び・教育)」よりお申込みください。



申込・請求
↓
学び・教育
↓
各種(入学検定料等)お支払いサービス

Kstation
<http://www.circleksunkus.jp>
 最寄りの「サークルK・サンクス」にある「Kステーション」へ。
 TOP画面の「学び・申込」よりお申込みください。



「学び・申込」
↓
各種(入学検定料等)のお支払い

京都大学 をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券/受付票」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

コンビニのレジでお支払いください。

- 端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi, Famiポート)または「受付票」(Kステーション)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**
- お支払い後は「取扱明細書」(マルチコピー機、Kステーション)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi, Famiポート)を受け取ってください。

*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
 *お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
 *入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

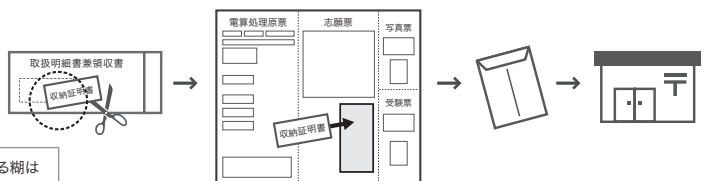
払込手数料 486円



3 出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、
 志願票の所定欄に貼り付け、
 出願書類とともに郵送してください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



【入試に関するお問合わせ先】 京都大学 教育推進・学生支援部入試企画課 TEL 075-753-2521 (受付時間) 平日8:30~17:15 *12:00~13:00 除く

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <http://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

(3) 出願に際しての注意事項

- ア. 納入の証明書（受付証明書又は収納証明書）は、はがれないように全面にしっかりとのり付けし、志願票の枠内に貼り付けてください。納入の証明書がない志願票は受理できません。
- イ. 以下の場合には本学に速やかに連絡してください。
 - a. 納入の証明書を紛失した場合
 - b. 依頼人名を志願者本人と違う名前で納入してしまった場合
 - c. その他、納入の証明書を正常に貼付できない場合
- ウ. 出願書類を受理した後は、第1次選考不合格者を除き、いかなる理由があっても振込済みの検定料は返還いたしません。

(4) 検定料の返還について

- ア. 第1次選考不合格者
検定料の一部（13,000円）を返還します。不合格通知書を送付する際に、返還手続方法について連絡します。
- イ. 検定料を納入したが出願しなかった場合及び誤って二重に納入した場合
検定料返還を希望する旨を明記のうえ、①志願者氏名 ②郵便番号 ③住所 ④電話番号 ⑤検定料を納入した金融機関名又はコンビニエンスストア名及び支店名を、下記までファックスにてお知らせください。記載の住所へ返還手続書類を郵送しますので、それに従って手続をしてください。
- ウ. 連絡先
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学教育推進・学生支援部入試企画課
TEL：075-753-2521 FAX：075-753-2565

3. 出願書類の提出方法

出願は、郵送に限ります。

出願書類は、必ずこの募集要項に添付されている所定の「出願書類送付用封筒」を用い、「書留速達郵便」として郵便局窓口から発送してください。

4. 出願書類の受理期間

【教育・理・医（人間健康科学科）学部】

平成27年10月5日（月）から10月9日（金）午後5時（必着）まで

【総合人間・文・経済・医（医学科）・薬・工・農学部】

平成27年11月2日（月）から11月6日（金）午後5時（必着）まで

5. 出願状況の情報提供

- (1) 各学部の出願状況について、受理期間終了後、本学ホームページ (<http://www.kyoto-u.ac.jp/>) 上に情報提供を行います。
- (2) 個別の出願書類の配達状況について、本学では対応いたしかねますので、日本郵便の追跡サービス (<http://www.post.japanpost.jp/index.html>) をご利用ください。

6. 第1次選考結果発表・受験票の送付

第1次選考結果発表・受験票の送付は、以下のとおり行います。

【総合人間・教育・理・医(医学科・人間健康科学科)・薬・工(地球工学科・情報学科)学部】

下記期日に、第1次選考合格者には「受験票」及び「受験上の諸注意」等を発送します。なお、第1次選考不合格者には不合格通知書を送付します。

医(人間健康科学科)学部	平成27年10月30日(金)
教育・理学部	平成27年11月6日(金)
総合人間・医(医学科)・薬・工(地球工学科・情報学科)学部	平成27年11月30日(月)

【工(電気電子工学科)学部】

平成27年11月30日(月)に、志願者全員に「受験票」を発送します。

【工(工業化学科)学部】

平成27年11月30日(月)に、第1次選考合格者には「受験票」を発送します。なお、第1次選考不合格者には不合格通知書を送付します。

【文・経済・農学部】

平成27年11月30日(月)に、志願者全員に「受験票」及び「受験上の諸注意」等を発送します。

また、平成28年2月3日(水)午後(予定)に、第1次選考結果の合否について、「合否照会システム」で発表を行います(詳細は51ページ参照)。第1次選考合格者のみ「受験票」は有効となります。

※ 電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。ただし、発表日当日に合否の確認ができない場合は本学からは連絡をしませんので、出願した学部の教務担当(61ページ参照)へ必ず問い合わせてください。

7. 大学入試センター試験成績請求票の提出(医学部医学科を除く)

対象者に別途、関係する通知文書を送付しますので、所定の台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「平成28センター試験成績請求票」を貼り付け、所定の返送用封筒に入れて、送付時に指定する日までに、出願した学部の教務掛へ提出してください。

なお、この成績請求票を提出しない場合は、受験者としての権利を失います。

また、特別な事情により、期限までに提出できない者は、学部の教務担当へ連絡してください。

【提出書類】

大学入試センター試験 成績請求票貼付用台紙 (記入方法は45ページ参照)	次の成績請求票を枠内に貼り付けてください。 【総合人間・文・教育・経済・理・医(人間健康科学科)・薬・農学部】 → 「 <input type="checkbox"/> AO国公立AO入試用」 【工学部】 → 「 <input type="checkbox"/> 推薦国公立推薦入試用」
センター試験成績請求票送付用封筒	出願する学部(学科)名、所在地の町名、郵便番号(封筒裏面参照)及び差出人欄を記入してください。

Ⅷ. 電算処理原票及び志願票等の記入方法

(法学部の後期日程試験については、12月配布予定の一般入試学生募集要項に添付されている様式を使用してください。)

1. 記入上の注意

- (1) 電算処理原票、志願票とも、太線で囲んだ枠内に必要事項を記入し、該当事項を○で囲んでください。※印欄は、記入しないでください。
- (2) 記入にあたっては、黒のボールペンを使用し、漢字は楷書で、数字は明瞭に記入してください。
- (3) 誤って記入した場合は、二重線を引き、余白部分に、修正内容が明確に分かるように訂正してください。訂正印は不要です。

2. 電算処理原票について

①志望学部
志望する学部コードを記入してください。
《例》医学部を志望する場合

④漢字氏名、⑤カナ氏名
志願者の氏名を記入してください。

⑥性別
該当する性別コードを記入してください。

⑦出願資格

- (1) 出願資格の取得年月を記入してください。

高等学校卒業程度認定試験合格者のうち、18歳未満で合格した者は、18歳に達した日の翌日が属する「年月」を記入してください。

- (2) 元号欄には昭和は「S」、平成は「H」を記入してください。年月が1桁の場合には、前に「0」を記入してください。

- (3) 「資格」欄は、該当する資格コードを記入してください。

※ 平成28年3月に高校を卒業見込の者は、卒業式が1月・2月にある場合でも、資格取得年月は「H2803」と記入してください。

※ 医学部医学科を志望し、国際科学オリンピック(数学、物理、化学、生物)日本代表で世界大会に出場した者で、高等学校又は中等教育学校を平成29年3月卒業見込の者は「H29031」と記入してください。

電算処理原票 (特色入試)

※印欄は、記入しないでください。

① 志望学部 06 ※② 日程区分 C ※③ 受付番号

④漢字氏名 京大 太郎

⑤カナ氏名 キョウダイ タロウ

⑥性別 1

⑦出願資格 H28031

学部コード	0	1	2	4	5	6	7	8	9
学部	文学部	教育学部	経済学部	理学部	医学部	薬学部	工学部	農学部	

性別	男	女
コード	1	2

資格コード	1	2	3	4	5	6
資格	高校・中等教育学校卒業見込	高校3年修了	高校3年修了	高校卒業程度認定試験合格	その他	

※大検査む

⑧ 志望学科

医学部・工学部志願者のみ志望する学科コードを記入してください。
 なお、医学部人間健康科学科の志願者は、志望する専攻コードも記入してください。
 ≪例≫医学部人間健康科学科看護学専攻を志望する場合

⑧ 志望学科

医学部・工学部志願者

3	2
51	52

志望専攻

医学部人間健康科学科志願者	0	1
	77	78

⑨ 高等学校等コード

1	2	3	4	5	X
99	100	101	102	103	104

医学部・工学部志願者は、志望する学科コードを記入してください。医学部人間健康科学科志願者は、志望する専攻コードも次の欄に記入してください。

医学部		工学部			
医	人	地	電	情	工
学	間	球	気	報	業
科	健	工	電	学	化
	康	学	子	科	学
	科	科	工	学	科
			学	科	
			科		
31	32	21	24	25	26

医学部人間健康科学科志願者は、志望する専攻コードを記入してください。

医	人	専	看	理	作
学	間	攻	護	学	業
部	健	科	学	療	療
科	康	学	学	法	法
	科	部	専	学	学
		科	攻	攻	攻
			1	3	4

平成28年度大学入学者選抜「大学入試センター試験受験案内28」を参照のうえ、記入してください。

⑨ 高等学校等コード

平成28年度大学入学者選抜「大学入試センター試験受験案内28」に記載の「高等学校等コード表」を参照のうえ、記入してください。

⑩ TOEFL iBT スコア

医学部医学科・薬学部薬科学科志願者

0	9	0
105	106	107

医学部医学科・薬学部薬科学科志願者は、Examinee Score Reportに記載されたスコアを記入してください。

⑩ TOEFL iBT スコア

医学部医学科・薬学部薬科学科志願者は、Examinee Score Reportに記載されたスコアを記入してください。スコアが2桁以下の場合には、前に「0」を記入してください。

元号欄には昭和は「S」、平成は「H」を、年月が1桁の場合は、前に「0」を記入してください。

⑪ 生年月日

元号	年	月	日
H	08	06	18
108	109	110	111

⑪ 生年月日

元号欄には昭和は「S」、平成は「H」を記入してください。年月日が1桁の場合には、前に「0」を記入してください。

3. 志願票・受験票・写真票について

志願票の記入内容と電算処理原票に記入した内容が異なることのないように注意してください。

※印欄は記入しないでください。

◎出願資格
高等学校及び中等教育学校を卒業（見込み）以外の者は、出身校名記入欄の高等学校及び中等教育学校の文字を二重線で消して、必要事項を記入してください。

平成28年度 京都大学 志願票（特色入試）		※印欄は、記入しないでください。	
※ 受付番号		※ 受験番号	
志望学部	医 学部	志望学科	医 学科
氏名	キョウダイ タロウ		専攻
出生年月日	京大 太郎		連絡場所
出生年月日	昭和 8 年 6 月 18 日 日生 男・女		〒606 - 8317 京都市左京区吉田本町 3丁目16番地 都マンションF304 電話 (075) 753 - ×××× 携帯電話 (090) ×××× - ××××
出願資格	京都府		入学見込年度
出願資格	公立 桜咲 中等教育学校		昭和 28 年 3 月
履歴	昭和・平成 年 月 日		
履歴	昭和・平成 年 月 日		
試験成績送付申込みの有無	有 無 (○印を付けてください。)		

◎連絡場所
出願時から4月上旬までの間、確実に連絡できる場所を記入してください。

◎試験成績送付申込みの有無
必ずいずれかに○印を付けてください。（試験成績の開示を希望する者は、試験成績送付申込票を同封してください。）

平成28年度 写真票 (特色入試)		※印欄は、記入しないでください。	
※ 受験番号		※ 受験番号	
フリガナ	キョウダイ タロウ	フリガナ	キョウダイ タロウ
氏名	京大 太郎	氏名	京大 太郎

◎履歴
現に大学（大学院を含む）に在学もしくは会社等に在職している者は、必ず記入してください。
《例》平成27年4月1日
鴨川大学〇〇学部入学（在学中）

◎履歴
現に大学（大学院を含む）に在学もしくは会社等に在職している者は、必ず記入してください。
《例》平成27年4月1日
鴨川大学〇〇学部入学（在学中）

入学検定料振込金受付証明書 (お客様用)	
平成〇〇年〇〇月〇〇日	円
金額	¥170,000
先方銀行	三井住友銀行京都支店
お受取口座	普通 口座番号 8233495
お名前	国立大学法人 京都大学 様
お名前	(フリガナ) キョウダイ タロウ 様
お名前	京大 太郎 様
受験学部	記入不要
上記のとおりお振込みいたしました。	
(取扱店) 〇〇 銀行	(収納印)
〇〇 店	(志願票貼付用)

◎「入学検定料納入の証明書」貼り付け欄
金融機関の収納印が押された「入学検定料振込金受付証明書（志願票貼付用）」又はコンビニエンスストア発行の「収納証明書」を貼り付けてください。

平成28年度 受験票 (特色入試)		※印欄は、記入しないでください。	
※ 受験番号		※ 受験番号	
フリガナ	キョウダイ タロウ	フリガナ	キョウダイ タロウ
氏名	京大 太郎	氏名	京大 太郎

◎写真票・受験票
上半身脱帽正面向きで3か月以内に単身で撮影した同一の写真をカバー紙をはがして枠内に貼り付けてください。

京都大学 医 学部	
-----------	--

4. 最終点検

記入を終了したら、36～41ページの「Ⅶ. 出願手続」と併せて、以下のことを再度確認してください。

- (1) 電算処理原票のコード内容と志願票の内容は一致していますか。
- (2) 「入学検定料納入の証明書」貼り付け欄には、金融機関の収納印が押された「入学検定料振込金受付証明書（志願票貼付用）」又はコンビニエンスストア発行の「収納証明書」を貼り付けていますか。
- (3) 「写真票」・「受験票」に写真を貼り忘れていませんか。

※ 出願書類に記入漏れ、その他不備がある場合は、出願書類を受理しません。
慎重に点検のうえ、所定の封筒により書留速達郵便として送付してください。

◎大学入試センター試験成績請求票貼付用台紙について（参考）

提出については、41ページを参照してください。

①志望学部
出願した学部コードを記入してください。
◀例▶教育学部に出願した場合

③受験番号
受験票に記載された受験番号を記入してください。

④氏名
志願者の漢字氏名を記入してください。

⑤大学入試センター試験成績請求票
全面にのり付けし、枠内にはがれないよう貼り付けてください。
【総合人間・文・教育・経済・理・医（人間健康科学科）・薬・農学部】
→「**AO**国公立AO入試用」
【工学部】
→「**推薦**国公立推薦入試用」

⑥試験区分
教育学部・医学部人間健康科学科（作業療法学専攻）志願者は、大学入試センター試験の利用科目に応じて試験区分を選択してください。
→文系「1」：地歴・公民2科目利用
理系「2」：地歴・公民1科目利用

大学入試センター試験 成績請求票貼付用台紙

（医学部医学科出願者は提出不要です。）

※印欄は、記入しないでください。

① 志望学部

0	2
1	2

↑
志望する学部コードを記入してください。

※② 日程区分

C
3

学部コード	総合人間学部	文学部	教育学部	経済学部	理学部	医学部	薬学部	工学部	農学部
ド	0	1	2	4	5	6	7	8	9

③ 受験番号

0	1	○	○
4	5	6	7

← 受験票に記載された受験番号を記入してください。

④ 氏名

京大 太郎

⑤

平成28センター試験成績請求票
AO 国公立AO入試用

2 0 0 0 1 1 - 1 0 0 1 X - 1
(キョウダイ タロウ)
京大 太郎

←

⑥ 試験区分

0	1
77	78

← 該当する試験コードを記入してください。

セ試験コード	文系	理系
1	1	2

◎文系 地歴・公民 2科目利用
◎理系 地歴・公民 1科目利用

◎総合人間・文・教育・経済・理・医（人間健康科学科）・薬・農学部志願者
「国公立AO入試用」を貼り付けてください。

◎工学部志願者
「国公立推薦入試用」を貼り付けてください。

Ⅸ. 入試情報開示

本学では、試験成績、調査票について受験者本人からの請求があれば、以下のとおり開示します。個人情報保護の観点から、代理人による開示申請は、理由の如何を問わず受け付けません。

【試験成績】

平成28年度特色入試の試験成績の開示を希望する者は、「試験成績送付申込票」に必要事項を記入のうえ、所定欄に482円分の切手を貼り、出願書類送付用封筒に同封して申し込んでください。平成28年5月上旬に書留郵便（親展）で送付します。

開示する試験成績は、大学入試センター試験（医学部医学科を除く）の教科別の得点（配点換算前及び換算後）と受験した学部における第2次選考の教科別の得点及び総点または段階評価です。参考として満点、合格者の最高点、最低点及び平均点を記載しています。なお、合格者数が5名未満の場合及び得点による評価をしない場合は、合格者の最高点、最低点及び平均点は記載しないことがあります。

なお、試験成績開示希望者のうち第1次選考不合格者に対しては、不合格通知書を送付する際に「試験成績送付申込票（482円分の切手）」を返却します。

また、特色入試の受験者本人に限り、平成28年7月1日から平成28年11月30日の間に、受験学部の教務担当事務室（場所は61ページ参照）において試験成績を開示します（本学の受験票、または本人確認ができるものを持参してください。）。

【調査書】

平成28年度特色入試の調査書の開示を希望する者は、平成28年7月1日から平成28年11月30日までの間に、受験学部の教務担当事務室で申請してください。申請後1週間以内に調査書の閲覧が受験学部の教務担当事務室で可能になります。申請・閲覧ともに特色入試の受験者本人に限りますので、本学の受験票、または本人確認ができるものを持参してください。

なお、開示する調査書の内容は、不開示情報（「指導上参考となる諸事項」及び「備考」欄）を除いた部分となります。

X. 障害等のある入学志願者との事前相談について

(法学部の後期日程試験については、7月配布予定の一般入試選抜要項をご確認ください。)

本学では、障害等があって受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者のための相談を常時受け付けています。相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、下の様式を用いて、出願前の早い時期に、志望する学部・学科の教務担当へ連絡してください。

特に下表に相当する障害がある入学志願者については、志願する学部・学科の第2次選考期日1カ月前までに連絡がない場合、受験上の配慮が講じられない場合もありますので十分注意してください。

なお、本学ではこれまでに受験に際して、拡大文字問題冊子の配付、別室試験室の設定、トイレに近い試験室の割り当て、注意事項等の文書による伝達、試験時間の延長などを実施しています。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害	・両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害	・両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ・肢体不自由の状態が上記に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	・慢性の呼吸器疾患、肝臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ・身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

[様式]

<p>(様式) A4判縦</p> <p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p> <p>京都大学〇〇学部長 殿</p> <p style="text-align: center;">氏名(ふりがな)・生年月日 性別・住所・電話番号・高校名・メールアドレス等</p> <p>京都大学〇〇学部に入학을志願したいので、下記のとおり事前に相談を希望いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 志望する学部・学科、受験科目 2. 障害等の種類、程度 3. 受験上希望する配慮事項 4. 修学上希望する配慮事項 5. その他 6. 添付書類 <ul style="list-style-type: none"> ・医師の診断書 ・大学入試センター試験受験上の配慮事項決定通知書(写)(大学入試センターに申請し通知書が手元にある者) ・身体障害者手帳(写)(交付を受けている者) ・その他相談する際に必要と思われる参考資料

※ 個人情報については、[独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律]及び[京都大学における個人情報の保護に関する規程]に基づいて取り扱います。

XI. 受験に関する注意事項等

1. 受験に関する注意事項等は、第2次選考日の前日午後に、出願した学部において掲示しますので、必ず確認しておいてください。
2. 第2次選考日の前日及び当日の自動車、バイク等での試験場構内への乗入を禁止します。
3. 第2次選考日の当日は、本学の受験票及び大学入試センター試験の受験票（ただし、教育・理・医学部は除く）を必ず持参してください。（入学手続の際には、本学の受験票と大学入試センター試験の受験票が必要になります。）
4. 第2次選考日の当日は、各学部の指示する時刻及び場所に集合してください（時刻の指示がない場合は試験開始30分前までに集合してください）。
5. 試験開始時刻に遅れた場合は、各教科等とも試験開始後30分以内に限り入室を認めます。
6. 第2次選考において使用を認めるものは、黒鉛筆（シャープペンシルも可）・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く）・消しゴム・時計（辞書や電卓等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く）に限ります。
健康上その他やむを得ない理由により、上記以外のものを使用したい場合は、監督者の指示に従ってください。
なお、定規は使用できません。
7. 携帯電話・スマートフォン等の携帯可能な多機能端末の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってかばんに入れておいてください。試験時間中に身につけている場合、不正行為と見なすことがありますので注意してください。これらを時計として使用することはできません。
8. 試験時間中に監督者が写真票及び机上の受験票の写真と受験者の顔の確認を行います。マスクや眼鏡等について一時的に外すよう監督者が指示する場合がありますので、指示に従ってください。
9. 不正行為等（★「不正行為等の取り扱い」参照）の理由で退場を命じられた者は、受験資格を失います。
10. その他受験に関する問い合わせは、出願した学部の教務担当（61 ページ参照）に照会してください。

詐欺まがいの行為に注意してください！

例年、試験場周辺において本学関係者を装うなどして、受験者に『合否連絡をする』、『緊急時に自宅に連絡する』などと言葉巧みに近寄り、受験番号・氏名・住所・電話番号などを記入させ、現金を要求する行為が発生しています。

本学関係者が受験者の個人情報聞き出し、現金を要求することは一切ありません。

★ 不正行為等の取り扱い

- ① 次の不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退場を命じられ〔不正行為失格〕となります。〔不正行為失格〕が命じられた場合は、全教科の受験資格を失うことになります。

- ア. 受験票に本人以外の写真が貼ってあった場合や解答冊子に本人以外の名前や受験番号を記入した場合。
- イ. カンニング（カンニングペーパー・教科書・辞書及び参考書類の使用、他の人から答えを教わることなど）を行うこと。
- ウ. 他の受験者に答えを教えたり、解答冊子の交換等により、カンニングの手助けを行うこと。
- エ. 試験時間中に、問題冊子・解答冊子・下書き用紙を試験室から持ち出すこと。
- オ. 『解答を始めなさい。』の指示前に、問題冊子を開いたり、解答を始めること。
- カ. 試験時間中に、携帯電話・スマートフォン等の携帯可能な多機能端末及び電子辞書等の電子機器類を使用すること。
- キ. 試験時間中に、定規・コンパス・電卓等の補助具を使用すること。
- ク. 『解答をやめなさい。』の指示に従わず、解答を続けること。

- ② 上記①以外にも、次の行為を行うと不正行為となることがあり、場合によっては、文書により警告します。不正行為と見なされた場合の取り扱いは上記①の場合と同じです。

- ア. 試験時間中に、携帯電話・スマートフォン等の携帯可能な多機能端末及び電子辞書等の電子機器類や定規・コンパス・電卓等の補助具をかばん等にしまわず、机の上に置いたり、身につけていたり、手に持っていること。
- イ. 解答冊子の見せ合い、話し合い、のぞき見等の疑いのある行為を行うこと。
- ウ. 試験時間中に、長い間、机の下に手を入れたり、服のポケット等に手を入れたりすること。

- ③ 次の行為を行うと試験妨害と見なされ、その場で試験の中止と退場を命じられ〔退場命令失格〕となります。〔退場命令失格〕が命じられた場合は、全教科の受験資格を失うことになります。

- ア. 監督者の指示に従わず、他の受験者に迷惑となる行為を繰り返すこと。
- イ. その他、試験の公平な実施を損なうおそれのある行為をすること。

XII. 合格者発表

(法学部の後期日程試験については、12月配布予定の一般入試学生募集要項をご確認ください。)

1. 第2次選考合格発表

第2次選考合格発表は、以下のとおり行います。

【教育・理・医（人間健康科学科）・薬・工（地球工学科・情報学科）学部】

下記日時に、「合否照会システム」による発表を行います（詳細は51ページ参照）。

教育・理・医（人間健康科学科）学部	平成27年12月15日（火） 正午
薬・工（地球工学科・情報学科）学部	平成28年 1月13日（水） 正午

※ 上記以外の学部（学科）については、第2次選考合格発表と最終合格発表が同じになります。

※ 電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。

2. 最終合格発表

最終合格者の発表は、次の日時・場所において、合格者の受験番号を掲示します。

また、「合否照会システム」による発表を行います（詳細は51ページ参照）。

【医（医学科）学部】

発表日	時間	場所
平成28年1月13日（水）	正午	医（医学科）学部の掲示場
掲示期間 前期：平成28年1月13日（水）正午～1月20日（水）午後5時		

【総合人間・文・教育・経済・理・医（人間健康科学科）・薬・工・農学部】

発表日	時間	場所
平成28年2月10日（水）	正午	各学部の掲示場
掲示期間 前期：平成28年2月10日（水）正午～2月16日（火）午後5時		

※ 受験者への合否の通知等はいりません。また、電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。

◆ 合否照会システムの利用方法について

■WEB による合否結果通知

1. URLの入力

URL: <http://www.gouhi.com/kyoto-u/>

※バーコードリーダー対応携帯電話をお持ちの方は、右のQRコードを読み取り、表示されたURLをクリックしてインターネットに接続してください。



2. 受験学部番号の入力 ※下記参照

3. 受験番号の入力 例:0001

4. 生年月日の入力 例:平成9年1月12日生 →H090112 平成=H 昭和=S

5. 選考結果の確認



携帯電話・パソコン共にフローは同じです。※図はイメージであり、実際の画面とは異なる場合があります。

■音声 による合否結果通知

<電話による合否確認方法> ※ 音声ガイダンスの指示に従い操作を行ってください。

① ☎ 03-4550-2464
合否結果案内センターに電話する。

② 「こちらは、京都大学選考結果案内センターです。
回線を確認しますので、*印と0をプッシュしてください」

③ あなたの受験学部番号1桁をプッシュしてください。
※下記参照

④ あなたの受験番号4桁をプッシュしてください。例:0001

⑤ あなたの生年月日をプッシュしてください。
例:平成9年1月12日生→1090112
平成=1 昭和=2 に変換してください。

⑥ 選考結果の確認音声がかかります。

・発表開始直後は電話がつながりにくいことがあります。その場合は、少し時間をずらしてかけ直してください。

学部番号

総合人間学部【0】 文学部【1】 教育学部【2】 経済学部【4】 理学部【5】 医学部【6】 薬学部【7】 工学部【8】 農学部【9】

ⅩⅡ. 入学手続

(法学部の後期日程試験については、12月配布予定の一般入試学生募集要項をご確認ください。)

入学手続は、「1. 入学手続に必要なもの」を期限までに、募集要項添付の封筒(入学手続書類送付用封筒)により書留速達で郵送してください。

所定の期限までに入学手続を行わない者は、入学辞退者として取り扱います。

1. 入学手続に必要なもの

(1) 入学料振込金受付証明書 <入学料 282,000円(予定)>

(注) 受験票送付時に同封する「振込金受付証明書貼付台紙」に貼付すること。

(2) 大学入試センター試験受験票(医学部医学科を除く)

(3) 本学受験票

(4) 新入生提出書類等送付用あて名票(この募集要項に添付の所定用紙)

【入学料等について】

ア. 入学料は、受験票郵送時に同封する本学所定の「振込依頼書」により、合格者発表後から入学手続時までに金融機関(ゆうちょ銀行及び郵便局は除く)の窓口で納入してください。振込みの際、収納印の押された「振込金受付証明書」を受け取り、受験票送付時に同封する「振込金受付証明書貼付台紙」に貼付し、郵送してください。

イ. 納入した入学料は、返還しません。ただし、所定の入学手続期間内に入学辞退を申し出た者についてはこの限りではありません。

ウ. 授業料については、入学案内等に同封する「預金口座振替依頼書」による口座振替、もしくは4月20日頃に送付する「振込依頼書」により納入してください。

<平成28年度前期分授業料 267,900円(予定)>

(年額一括納入の場合 535,800円) (予定)

※ 授業料は入学時・在学中に改定されることがあります。

エ. 入学料免除及び入学料徴収猶予の申請を希望する者は、54ページ「ⅩⅤ. 修学案内」を参照してください。入学料を納入すると申請できませんので注意してください。

2. 入学手続方法

(1) 郵送締切日時

平成28年2月16日(火) 午後5時必着

ただし、上記締切日時までに手続ができない場合は、合格した学部の教務担当へ締切日時までに連絡して、指示に従ってください。

(2) 郵送先・郵送方法

宛先は合格した学部の教務担当とし、「1. 入学手続に必要なもの」をすべて同封し、募集要項添付の封筒(入学手続書類送付用封筒)により、必ず書留速達として郵送してください。

※ 配達状況については、日本郵便の追跡サービス(<http://www.post.japanpost.jp/index.html>)を利用して確認することができます。

(3) 注意事項等

入学手続が完了後、「大学入試センター試験受験票(医学部医学科を除く)」、「本学受験票」、「入学許可書」、「入学案内」、「学籍登録シート(法学部を除く)」等の書類をレターパックで、「新入生

提出書類等送付用「あて名票」に記載の住所に、2月18日（木）（法学部を除く）までに発送します。2月21日（日）（法学部を除く）を過ぎても書類が届かない場合は、合格した学部の教務担当（61 ページ参照）へ問い合わせてください。

3. 入学辞退手続

本特色入試では、合格した場合は必ず入学することを確約する者であることを出願要件としております。合格者であって、真にやむをえない特別な事情が生じ入学を辞退しようとする者は、2月16日（火）（法学部を除く）午後5時までに具体的な理由を付した「特色入試入学辞退願」（様式任意、本人が署名・捺印したもの）を提出し、許可を得なければなりません。

なお、入学辞退が許可されない場合には、他の国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く。）を受験しても合格者となりませんので注意してください。

※手続き及び連絡先：合格した学部の教務担当（61 ページ参照）

4. 入学手続上の諸注意

他の国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く。）で入学手続を完了した者は、本学で入学手続を行うことはできません。

また、本学に入学手続を完了した者は、これを取り消して他の国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除く。）に入学手続することはできません。

※ 公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org>）参照のこと。

XV. 個人情報取り扱いについて

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

1. 入学者選抜を通じて取得した氏名、住所、その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。
2. 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
3. 上記1. 及び2. の各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。

したがって、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部又は一部を提供します。

4. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入試センターの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付いたします。
5. 入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍管理、修学指導、教育課程の改善等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

XV. 修学案内

学生生活に必要な制度、施設等についての概要は、次のとおりです。

1. 入学料免除

入学料の納付が困難な学生に対して、(1) 出願資格のいずれかに該当する場合は、選考のうえ、入学料の全額または半額を免除する制度があります。

入学料免除希望者は、次の(1)～(3)に留意のうえ、手続きをしてください。

(1) 出願資格

下記の①又は②に該当する場合に対象となります。

- ① 平成27年4月から平成28年3月までの間に、出願者の学資を主として負担している者が死亡し、又は本人もしくは本人の学資を主として負担している者が風水害等（地震、台風を含む）の災害を受けたこと等により、入学料の納付が著しく困難と認められる者
- ② ①に準ずる場合であって総長が相当と認める事由がある者

(2) 出願手続

入学手続時に「入学料免除・徴収猶予一時申請願」を提出してください。詳しくは、京都大学ホームページの入学料免除（<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/tuition/nyugaku>）によりご確認ください（ホームページへの掲載は、1月下旬予定）。

(3) その他

- ア. 入学料免除を出願した者で、入学手続期間以外に入学を辞退した場合は、速やかに入学料を納付してください。
- イ. 入学料免除を出願した者は、選考結果が決定（7月下旬予定）するまで、入学料の納付を猶予します。（入学料を納付すると免除の対象としないので、注意してください。）
- ウ. 選考の結果、不許可又は半額免除の決定がなされた場合は、その決定後、大学から改めて指示する期限までに入学料を納付しなければ、学生の身分を失います。

2. 入学料徴収猶予

入学料を納付期限までに納付することが困難な学生に対して、(1) 出願資格のいずれかに該当する場合は、選考のうえ、入学料の徴収を猶予する制度があります。

入学料徴収猶予希望者は、次の(1)～(3)に留意のうえ、手続きをしてください。

(1) 出願資格

下記の①、②又は③に該当する場合に対象となります。

- ① 経済的理由によって入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- ② 平成27年4月から平成28年3月までの間に、出願者の学資を主として負担している者が死亡し、又は本人もしくは本人の学資を主として負担している者が風水害等（地震、台風を含む）の災害を受けたこと等により、入学料の納付が著しく困難と認められる者
- ③ ②に準ずる場合であって総長が相当と認める事由がある者

(2) 出願手続

入学手続時に「入学料免除・徴収猶予一時申請願」を提出してください。詳しくは、京都大学ホームページの入学料免除 (<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/tuition/nyugaku>) によりご確認ください(ホームページへの掲載は、1月下旬予定)。

(3) その他

ア. 入学料徴収猶予を出願した者で、入学手続期間以外に入学を辞退した場合は、速やかに入学料を納付してください。

イ. 入学料徴収猶予を出願した者は、選考結果が決定(7月下旬予定)するまで、入学料の納付を猶予します。(入学料を納付すると徴収猶予の対象としないので、注意してください。)

ウ. 選考の結果、許可又は不許可の決定がなされた場合は、その決定後、大学から改めて指示する期限までに入学料を納付しなければ、学生の身分を失います。

3. 授業料免除

授業料の納付が困難な学生に対して、(1) 出願資格のいずれかに該当する場合は、選考のうえ、授業料の全額または半額を免除する制度があります。

授業料免除希望者は、次の(1)～(3)に留意のうえ、手続きをしてください。

(1) 出願資格

下記の①、②又は③に該当する場合に対象となります。

- ① 経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- ② 平成27年4月から平成28年3月までの間(前期授業料の場合)に、出願者の学資を主として負担している者が死亡し、又は本人もしくは本人の学資を主として負担している者が風水害等(地震、台風を含む)の災害を受けたこと等により、授業料の納付が著しく困難と認められる者
- ③ ②に準ずる場合であって総長が相当と認める事由がある者

(2) 出願手続

京都大学ホームページの授業料免除 (<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/tuition/jumen>) によりご確認ください(ホームページへの掲載は、1月下旬予定)。

(3) その他

ア. 授業料免除を出願した者は、選考結果が決定(7月下旬予定)するまで、授業料の納付を猶予します。(授業料を納付すると免除の対象としないので、注意してください。)

イ. 選考の結果、不許可又は半額免除の決定がなされた場合は、その決定後、大学から改めて指示する期限までに授業料を納付してください。

4. 奨学金

学業が優れ、かつ、健康であって、経済的に困窮し、修学に支障を来たす者については、選考のうえ、奨学金を貸与又は給与する制度があります。

(1) 日本学生支援機構奨学金

奨学金の種類と貸与月額は、次のとおりです。（平成27年4月現在）

・大学第一種奨学生（無利子）

自宅通学 45,000円 又は 30,000円

自宅外通学 51,000円 又は 30,000円

・大学第二種奨学生（有利子）

30,000円、50,000円、80,000円、100,000円、120,000円

（本人の希望する貸与月額を選択）

◇入学時特別増額貸与奨学金制度

大学の第1学年において希望により、基本月額に10万円～50万円を増額して貸与されます。この制度は、一定の収入金額以下の者、又は、国の教育貸付け〔株式会社日本政策金融公庫（旧国民生活金融公庫）の教育ローン〕を申し込んで、貸付を受けることができなかった者が申し込めます。

ア. 申込説明会

日本学生支援機構奨学金を希望する者は、入学後、申込説明会を開催しますので、必ず出席してください。詳細については、「入学案内」により通知します。

なお、入学の前年度に採用候補者に内定している者は、次の「イ. 進学届の提出」を参照してください。

イ. 進学届の提出

入学の前年度に日本学生支援機構奨学生の採用候補者に内定している者は、あらかじめ日本学生支援機構から交付されている「個人別パスワード」及び本学が交付する「学校別パスワード」を使用してインターネットから直接届け出てください。なお、「学校別パスワード」の交付等については、「入学案内」により通知します。

(2) その他の奨学金

日本学生支援機構奨学金のほか、教育推進・学生支援部学生課奨学掛で取り扱っている奨学金は、地方公共団体、民間育英団体合わせて約90団体あります。詳細については、「入学案内」により通知します。

5. 学生教育研究災害傷害保険（学研災）・学研災付帯賠償責任保険（付帯賠償）・学生賠償責任保険（大学生協）

学研災は、正課や学校行事中、課外活動中、これらに伴う通学中等の事故により、学生が被った傷害に対して適用される保険であり、学生生活を送るうえで重要な役割を果たします。また、学研災の付帯保険として、上記活動中（一部除く）に学生が法律上の損害賠償責任を負うことで被る、対人・対物の損害を対象とした付帯賠償があります。

また、日常生活全般での損害賠償責任をカバーする大学生協の学生賠償責任保険があります。

なお、本学では入学の際、原則として、日本人学生は学研災・付帯賠償に、留学生は学研災・学生賠償責任保険に全員が加入することとなっています。加入手続きの詳細については、「入学案内」により通知する他、本学 HP (<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/campus/health/saigai.html>)

および大学生協 HP (<http://hoken.univcoop.or.jp/student/index.htm> (和文)、
<http://www.univcoop.or.jp/en/index.html> (英文)、京大生協連絡先 TEL:075-771-6211)
 に掲載しています。

6. 学生寄宿舍

新入生が入寮できるのは、下記の3つの寮です。寮生の募集・選考等については各寮の自治会で
 行っていますので、詳細については各寮の入寮選考委員会に問い合わせてください。

なお、各寮の募集案内等については、入学試験当日に各寮の寮生が大学の門付近で配布するとと
 もに教育推進・学生支援部厚生課厚生掛においても配布しています。(例年、女子寮については合
 格者発表前に募集締切となっていますので、ご注意ください。)

また、入学試験当日に募集案内等を入手できなかった場合は、後日各寮もしくは教育推進・学生
 支援部厚生課厚生掛にて受け取ることができます。

	吉 田 寮	熊 野 寮	女 子 寮
所 在 地	左京区吉田近衛町	左京区東竹屋町 50	教育推進・学生支援部 厚生課厚生掛まで問い 合わせてください。
電話番号	075-753-2537・2538	075-751-4050・4051	
収容定員	147名	422名	35名
対象学生	男子・女子	男子・女子	女子
建築年度	大正2年	昭和39年・40年	昭和33・34年
建物構造	木造2階建 (3棟)	鉄筋コンクリート4階建 (3棟)	木造モルタル2階建 (2棟)
居室様式	和室8～10畳 26室 和室6～7.5畳 95室 (個室はありません)	洋室30㎡84室 (4人部屋) 洋室15㎡43室 (2人部屋)	洋室13㎡16室 (2人部屋) 洋室9㎡3室 (1人部屋)
寄宿料(月)	400円	700円	400円
光熱水料	1,500円～2,500円 各寮により異なります。		
食 事	自炊	食堂	自炊
通学時間	徒歩 約5分	徒歩 約15分	徒歩 約7分

※ 入寮を希望される方は、寮の雰囲気を感じてもらうために寮の見学をしておくことをお勧めします。
 入寮選考は毎年、春と秋の2回行いますが、募集人員は、部屋の空き状況により決定します。
 吉田寮・熊野寮については、募集案内や入寮選考の具体的な期日等は、「吉田寮公式サイト」
 (<http://sites.google.com/site/yoshidadormitory/>) 「熊野寮ホームページ」(<http://www.kumano-ryo.com/>) でもご覧いた
 だけます(外部リンク)。

※ 教育推進・学生支援部厚生課厚生掛 (TEL:075-753-2540)

7. 下宿・アパート等

京都大学生生活協同組合（<http://www.s-coop.net>、TEL：075-771-0823）で、アパート・マンション等の紹介をしています。

8. 福利厚生施設

本学の福利厚生施設は、各構内（吉田、桂、宇治キャンパス）にそれぞれ食堂や購買部を配置し、学生生活における「食」の面でのサポートや生活環境の向上に資しています。

9. 学生総合支援センター

本学は、学生の修学上、適応上の相談や苦情等に対応し、必要な支援を行うため、学生総合支援センターを置いています。センターには以下の3つのルームがあります。

（1）カウンセリングルーム

心理学を専門とするスタッフが学生生活上のさまざまな悩み（進路選択、学業、就職、人生思想、対人関係、家庭、性、性格、吃音、心理障害、ハラスメント、その他）に関して、個人の秘密を厳守して相談に応じ、専門的助言と継続的援助を行っています。

（2）キャリアサポートルーム

学生の就職活動・キャリア形成を支援することを目的として、就職活動に役立つ各種資料・情報を提供するとともに、キャリア教育としての各種セミナーや講座、インターンシップや就職活動のためのガイダンス、合同企業説明会、公務員志望者のためのガイダンスや説明会などを開催しています。また、就職活動に関わる様々な問題や悩み事に窓口で対応するとともに、個別相談のための就職相談室を開設しています。

（3）障害学生支援ルーム

障害があるなどの理由により、修学上何らかの支援が必要な学生の相談に応じ、所属学部や関連部局と連携しながら、支援を実施します。

支援例)	視覚障害	→	ガイドヘルプ、音訳、機器の貸出など
	聴覚障害	→	ノートテイク、PC文字通訳、機器の貸出など
	肢体不自由	→	移動介助、施設・設備の改善など
	発達障害	→	修学環境の調整など

※その他、慢性的な疾病、一時的な怪我などにより、修学上の支援が必要な方の相談にも応じます。

10. 保健衛生

健康科学センター

学生の修学や生活を健康面から支援するため、種々の保健・医療サービスを提供しています。全学生が受診する定期健康診断、化学薬品や放射線を取り扱う場合の学生特別健康診断、就職や免許取得時に必要な各種の健康診断を実施するとともに、生活習慣病予防のための保健指導や感

感染症予防のための予防接種などを提供しています。また、心身の不調や不安をかかえる学生には診療や健康相談を行っています。本センターには医師や看護師が待機しており、気軽にかかる保健・医療施設です。

11. 課外活動

本学における学生の課外活動は、相互研鑽のため学生自らが主体的に行うもので、先輩や部員間の深い絆を育み、自己の生き方を求めながら、自己の存在を確かめる場として人間形成の上で意義あるものです。学部在学生の多くが何らかの形で参加しています。全学公認学生団体は、文化系と体育系に区分され、本学創立まもなく誕生したものから最近結成したものまで、約200団体があります。文化系団体は音楽・ダンス系、芸術・古典系、宗教系、人文・社会・自然系、その他に、体育系団体は体育会所属とそれ以外に分類されます。文化系各団体はそれぞれの設置目的に添って日常活動を行い、その成果を学内外に発表します。体育会所属運動部は、全国7大学総合体育大会や近畿地区国立大学体育大会のほか所属リーグ戦等に、体育会所属以外の体育系団体は所属リーグ戦等に参加しています。こうした日々の課外活動に参加することは、学生生活に張り潤いをもたらすこととなります。

また、毎年11月下旬に開催の11月祭（大学祭）は日常の活動を学内外に発表する場として、文化系・体育系を問わずさまざまなグループが参加する学生最大の祭典です。前夜祭に始まり、期間中は講演会、展示会、音楽会、演劇公演、模擬店などが開かれ、大学生活における楽しい思い出の一つとなる行事です。

12. 図書館

附属図書館は、本学開学から2年後の1899年に創設され、以来、100年以上を経て今日に至っています。学内には附属図書館をはじめ宇治分館のほか50数カ所に学部や研究所の図書館・室があり、教育や研究を支援する学術情報基盤として重要な役割を担っています。

蔵書数は、全学で686万冊を超え、このうち附属図書館は約92万冊を所蔵しています。附属図書館には、国宝の『鈴鹿本 今昔物語集』や重要文化財など貴重なコレクションが多数あり、質量ともにわが国有数の図書館となっています。

附属図書館は地上4階、地下3層の建物で、快適な閲覧室や協同学習が可能なラーニング・commons、情報端末コーナー、DVDやCDを楽しめるメディア・commons、研究個室、共同研究室などを備えています。また、各種の調査に応じるレファレンスサービスや資料の探し方の講習会を行っています。平日は午前8時から午後10時まで、土・日・祝日は午前10時から午後7時まで開館しており、学習・研究のための大切な場となっています。1階には24時間利用可能な学習室があり、深夜・早朝の学習も可能です。

電子図書館サービスも充実しており、データベース、電子ジャーナル、電子ブックを提供して学習や研究に利用されています。さらに、インターネットでの貴重資料画像やオンライン蔵書目録の公開、学術機関リポジトリによる京都大学の教育・研究成果の発信にも力を入れています。

これらの各種サービスや利用の案内には、本学附属図書館ホームページ（URL：<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>）からアクセスすることができます。

13. オープンスペースラボラトリ（OSL）

本学の情報環境機構は大学におけるあらゆる活動を支えるために必要な高い安全性、利便性を備えた先端的な情報環境の構築、運営を目的に活動しています。情報環境機構では学習用の情報環境として、セキュリティやプライバシー面で安心して利用できるように設計されたパーソナルコンピュータ（PC）群からなる教育用コンピュータシステムや語学学習（CALL）システムを運用しており、これらのシステムは本学の学生ならば所属学部によらず利用できます。

また、これらのシステムでは授業用の演習室のほか、授業と関係なく利用できるPCを設置したオープンスペースラボラトリ（OSL）を学術情報メディアセンター南館・北館や附属図書館などに設けています。OSLでは電子メールでのコミュニケーション、インターネットでの情報検索、プログラミングやデータ処理、レポートやプレゼンテーション資料の作成、語学教材を用いた自習などが自由に行えるよう情報環境面での学習・大学生活を支援しています。

14. 教育職員免許状について

本学で取得できる教員免許状は、高等学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状及び特別支援学校教諭一種免許状（聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者）です。

学部の教科に関する科目と併せて教職に関する科目を履修し、免許法所定の単位を修得した者は、高等学校・中学校教諭一種免許状授与の資格が得られます。

免許状の教科の種類は、次のとおりです。

国語、社会、地理歴史、公民、宗教、保健体育、数学、理科、英語、農業、工業、商業、水産、情報、ドイツ語、フランス語、中国語

なお、中学校免許を取得するには、「介護等体験」（特別支援学校で2日間、社会福祉施設等で5日間、計7日間）が義務付けられています。

また、中学校、高等学校の一種免許状を取得し、免許法に規定する特別支援教育に関する科目を修得すれば、特別支援学校教諭一種免許状（聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者）を取得することができます。

15. 卒業後の進路

平成27年3月卒業者の進路動向は下表のとおりです。卒業者の約60%が大学院に進学し、約30%が就職しています。

平成26年度 卒業者の進路状況

（平成27年5月1日現在）

学部名	進路		卒業者数		進学者数		就職者数		臨床研修医		その他					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
総合人間学部	81	32	35	9	42	19			4	4						
文学部	119	96	41	26	62	56			16	14						
教育学部	38	31	18	12	18	19			2	0						
法学部	264	86	89	19	152	59			23	8						
経済学部	214	46	23	3	178	43			13	0						
理学部	253	34	204	25	27	6			22	3						
医学部	117	126	15	34	13	68	83	21	6	3						
薬学部	42	37	31	16	11	21			0	0						
工学部	857	98	761	89	75	7			21	2						
農学部	208	105	170	81	34	22			4	2						
男計	2,193		691		1,387		314		612		320		83	21	111	36
女計	2,884		1,701		932		104		147		5.1%					
合計	100.0%		59.0%		32.3%		3.6%		5.1%							

進学者数には大学学部へ入学した者2名（男2名・女0名）、専修学校・外国の学校等へ入学した者8名（男7名・女1名）を含む。

【 問 い 合 わ せ 先 】

各学部教務担当

学 部	担当掛	電話番号	住 所
総合人間学部	教 務 掛	075-753-7875	〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町
文 学 部	第一教務掛	075-753-2709	〒606-8501 京都市左京区吉田本町
教 育 学 部	教 務 掛	075-753-3010	
法 学 部	教 務 掛	075-753-3107	
経 済 学 部	教 務 掛	075-753-3406	
工 学 部	教 務 掛	075-753-5039	
医学部医学科	学部教務掛	075-753-4325	〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町
医学部人間健康科学科	教 務 掛	075-751-3906	〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53
薬 学 部	教 務 掛	075-753-4514	〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町
理 学 部	学部教務掛	075-753-3637	〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
農 学 部	学部教務掛	075-753-6012	

入学試験関係

担当部課掛	電話番号	住 所
教育推進・学生支援部 入試企画課入試第一掛	075-753-2521	〒606-8501 京都市左京区吉田本町

入学料・授業料免除，奨学金関係

担当部課掛	電話番号	住 所
教育推進・学生支援部 学生課奨学掛	075-753-2536	〒606-8501 京都市左京区吉田本町

学生寄宿舍関係

担当部課掛	電話番号	住 所
教育推進・学生支援部 厚生課厚生掛	075-753-2540	〒606-8501 京都市左京区吉田本町



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

■京都大学特色入試に関する問い合わせ先

tokushoku-nyushi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

メールにてお問い合わせください。

お問い合わせに対して個別に回答できませんが、
京都大学特色入試WEBサイトに「よくあるご質問」としてまとめて回答いたします。

■京都大学ホームページ ホーム>入試・高大連携>特色入試

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>

■京都大学特色入試WEBサイト

<http://www.nyusi.gakusei.kyoto-u.ac.jp/tokushoku/>

京都大学教育推進・学生支援部入試企画課

TEL(075)753-2521

Home page <http://www.kyoto-u.ac.jp/>